

令和7年（2025年）度
福島県多文化共生に係るアンケート調査報告書
外国人住民対象

令和8年2月
福島県生活環境部国際課

目次

	頁
【調査概要】	3
1 調査の目的	
2 調査対象	
3 調査方法	
4 調査期間	
5 アンケート調査項目	
6 アンケート調査配布数	
7 調査票回収数	
8 アンケート調査票言語	
9 その他	
【調査結果】	4
I あなたについて (属性)	4
II 日本語について	14
III 仕事について	21
IV 出産・子育てについて	25
V 生活について	28
VI その他	43

【調査概要】

1 調査の目的

県内の外国人住民は増加傾向にあり、県民の1%以上の約100人に1人が外国人住民という状況にあります（R6.12末時点：外国人住民数19,650人、県人口に対する外国人住民の割合1.127%）。

こうした中、県では、『ふくしま国際施策推進プラン（令和3年12月改定）』（令和4年度（2022年度）～令和12年度（2030年度））において本県の国際施策に関する取組の方向性を定め、多文化共生社会の実現に向けて取り組んでいます。

本調査は、県内における外国人住民を取り巻く状況や課題等を把握し、多文化共生施策の推進につなげることを目的として実施しました。

2 調査対象

県内に住む20歳以上の外国人住民

3 調査方法

無作為抽出した調査対象に郵送で通知し、オンラインにより回答を頂く。

4 調査期間

令和7年10月1日～10月31日

5 アンケート調査項目

日本語能力、仕事、生活、地域における交流、日常生活の困りごとなど

6 アンケート調査配布数

3,500件

7 調査票回収数

860件（回収率24.6%）

8 アンケート調査票言語

やさしい日本語、英語、中国語、ベトナム語

9 その他

- (1) 本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数である。
- (2) 百分率（%）の計算は回答者数nを分母とし、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示した。従って、単数回答（1つだけ選ぶ問）においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせて100%にならない場合がある。
- (3) 複数回答（2つ以上選んでよい問）においては、%の合計が100%を超える場合がある。
- (4) 本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。
- (5) 「無回答」には判読不能を含む。

10 調査の受託者

公益財団法人 福島県国際交流協会

【調査結果】

I あなたについて（属性）

Q1 あなたが住んでいる市町村はどこですか。

（1）市町村別

○居住地は、県北が30.8%（265人）と最も多く、次いで県中24.0%（206人）、いわき16.6%（143人）となっている。

ア 県北

市町村名	人数（人）
福島市	204
二本松市	20
伊達市	17
本宮市	11
その他	13
小計①	265
割合	30.8%

イ 県中

市町村名	人数（人）
郡山市	144
須賀川市	19
田村市	13
その他	30
小計②	206
割合	24.0%

ウ 県南

市町村名	人数（人）
白河市	46
矢吹町	10
その他	32
小計③	88
割合	10.2%

エ 会津

市町村名	人数（人）
会津若松市	53
喜多方市	13
その他	18
小計④	84
割合	9.8%

オ 南会津

市町村名	人数（人）
南会津町	10
その他	3
小計⑤	13
割合	1.5%

カ 相双

市町村名	人数（人）
相馬市	10
南相馬市	25
その他	18
小計⑥	53
割合	6.2%

キ いわき

市町村名	人数（人）
いわき市	143
小計⑦	143
割合	16.6%

ク 無回答

	人数（人）
未回答	8
小計⑧	8
割合	0.9%

合計（小計①～⑧）

860

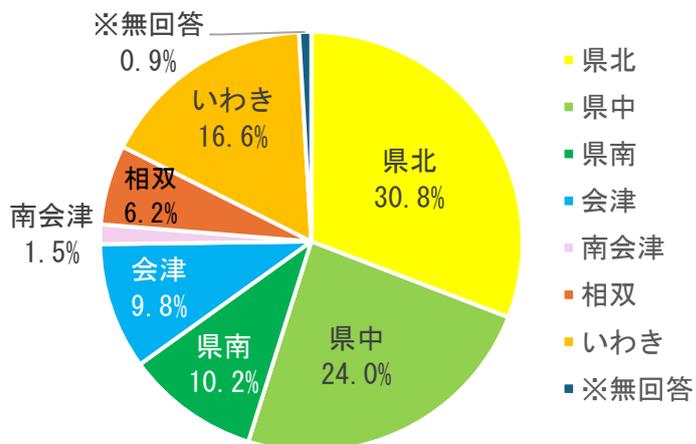
※回答者が10人以下の市町村は「その他」として集計



(2) 地域別

n=860

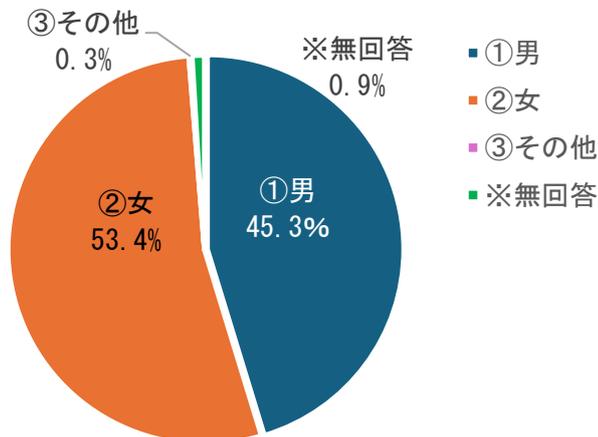
地域別	人数 (人)	割合 (%)
県北	265	30.8
県中	206	24.0
県南	88	10.2
会津	84	9.8
南会津	13	1.5
相双	53	6.2
いわき	143	16.6
※無回答	8	0.9



Q2 あなたの性別は次のどちらですか。

n=860

男女別	人数 (人)	割合 (%)
①男	390	45.3
②女	459	53.4
③その他	3	0.3
※無回答	8	0.9

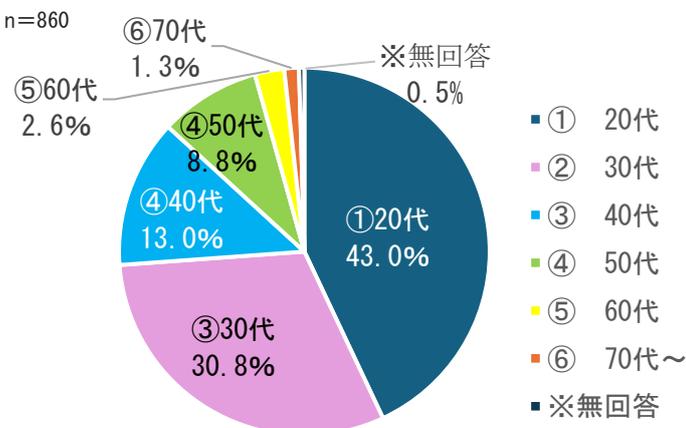


Q3 あなたの年代は次のどれですか。

○年代は、20代が(43.0%)と最も多く、次いで30代(30.8%)、40代(13.0%)となっており、30代以下の回答者が73.8%を占める。

n=860

年代別	人数 (人)	割合 (%)
①20代	370	43.0
②30代	265	30.8
③40代	112	13.0
④50代	76	8.8
⑤60代	22	2.6
⑥70代~	11	1.3
※無回答	4	0.5



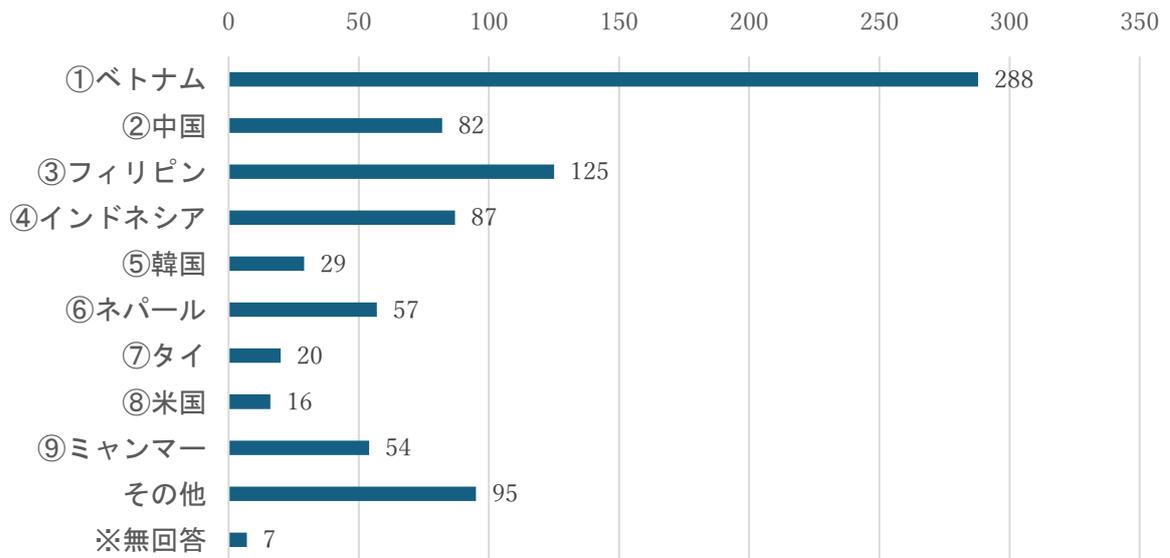
Q 4 あなたの国籍・地域はどこですか。

○国籍・地域は、「ベトナム」が最も多く、全体の33.5% (288人) を占めている。次いで「フィリピン」14.5% (125人)、「インドネシア」10.1% (87人)、「中国」9.5% (82人) の順となっている。

「その他」の主な国籍・地域は、ブラジル (9人)、次いでインド、スリランカ (各8人)、英国、カナダ (各7人)、オーストラリア、バングラデシュ (各6人) となっている。

n=860

国・地域名	人数 (人)	割合 (%)
①ベトナム	288	33.5
②中国	82	9.5
③フィリピン	125	14.5
④インドネシア	87	10.1
⑤韓国	29	3.4
⑥ネパール	57	6.6
⑦タイ	20	2.3
⑧米国	16	1.9
⑨ミャンマー	54	6.3
その他	95	11.0
※無回答	7	0.8



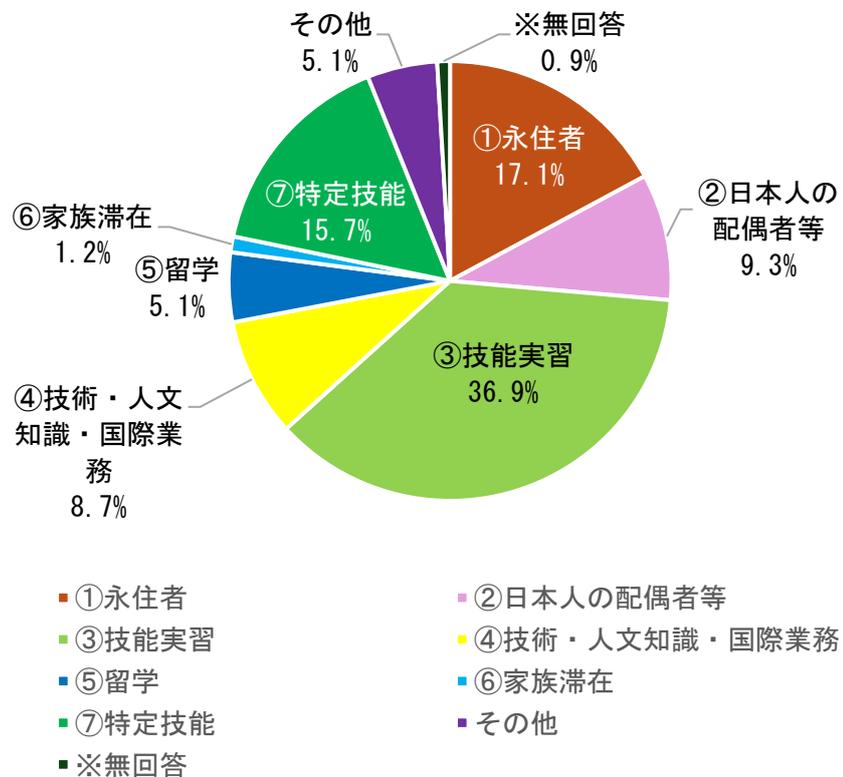
Q5 あなたの在留資格は、次のどれですか。

○在留資格は、技能実習が 36.9% (317 人) と最も多く、次いで、「特定技能」15.7% (135 人)、「永住者」17.1% (147 人) となっている。

(1) 全体

n=860

居住資格	人数 (人)	割合 (%)
①永住者	147	17.1
②日本人の配偶者等	80	9.3
③技能実習	317	36.9
④技術・人文知識・国際業務	75	8.7
⑤留学	44	5.1
⑥家族滞在	10	1.2
⑦特定技能	135	15.7
その他	44	5.1
※無回答	8	0.9



(2) クロス集計

① (Q5「在留資格」×Q3「年代」)

○「技能実習」、「特定技能」では20代、30代の若年層に多く見られる。一方、「永住者」の割合は年齢が高くなるにつれて増加する傾向があり、50代以降では7割以上を占めている。

上段：人数 下段：%	①永住者	②日本人の配偶者等	③技能実習	④技術・人文知識・国際業務	⑤留学	⑥家族滞在	⑦特定技能	その他	※無回答
①20代 (n=370)	8 2.2%	3 0.8%	228 61.6%	18 4.9%	38 10.3%	0 0.0%	63 17.0%	11 3.0%	1 0.3%
②30代 (n=265)	19 7.2%	38 14.3%	77 29.1%	41 15.5%	4 1.5%	6 2.3%	59 22.3%	19 7.2%	2 0.8%
③40代 (n=112)	38 33.9%	23 20.5%	11 9.8%	15 13.4%	2 1.8%	2 1.8%	11 9.8%	9 8.0%	1 0.9%
④50代 (n=76)	56 73.7%	12 15.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.6%	2 2.6%	3 3.9%	1 1.3%
⑤60代 (n=22)	16 72.7%	3 13.6%	0 0.0%	1 4.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 9.1%	0 0.0%
⑥70代 (n=11)	10 90.9%	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
※無回答 (n=4)	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 75.0%
全体 (n=860)	147 17.1%	80 9.3%	317 36.9%	75 8.7%	44 5.1%	10 1.2%	135 15.7%	44 5.1%	8 0.9%

② (Q5「在留資格」×Q4「国籍・地域」)

○「技能実習」、「特定技能」などの就労資格は、ベトナム、インドネシア、ネパール、タイ、ミャンマーにおいて特に高い割合を占めている。一方、「永住者」、「日本人の配偶者等」といった身分に基づく在留資格では、「中国」、「フィリピン」、「韓国」、「タイ」で割合が高い。

上段：人数 下段：%	①永住者	②日本人の配偶者等	③技能実習	④技術・人文知識・国際業務	⑤留学	⑥家族滞在	⑦特定技能	その他	※無回答
①ベトナム (n=288)	6 2.1%	4 1.4%	201 69.8%	17 5.9%	3 1.0%	1 0.3%	54 18.8%	2 0.7%	0 0.0%
②中国 (n=82)	48 58.5%	13 15.9%	6 7.3%	1 1.2%	1 1.2%	2 2.4%	4 4.9%	7 8.5%	0 0.0%
③フィリピン (n=125)	36 28.8%	30 24.0%	18 14.4%	9 7.2%	5 4.0%	4 3.2%	15 12.0%	8 6.4%	0 0.0%
④インドネシア (n=87)	2 2.3%	1 1.1%	63 72.4%	1 1.1%	0 0.0%	0 0.0%	17 19.5%	3 3.4%	0 0.0%
⑤韓国 (n=29)	20 69.0%	4 13.8%	0 0.0%	1 3.4%	1 3.4%	1 3.4%	0 0.0%	2 6.9%	0 0.0%
⑥ネパール (n=57)	0 0.0%	1 1.8%	4 7.0%	13 22.8%	18 31.6%	1 1.8%	18 31.6%	1 1.8%	1 1.8%
⑦タイ (n=20)	8 40.0%	4 20.0%	6 30.0%	1 5.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.0%	0 0.0%
⑧米国 (n=16)	4 25.0%	3 18.8%	0 0.0%	3 18.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.3%	5 31.3%	0 0.0%
⑨ミャンマー (n=54)	0 0.0%	0 0.0%	16 29.6%	7 13.0%	10 18.5%	0 0.0%	19 35.2%	2 3.7%	0 0.0%
その他 (n=95)	23 24.2%	19 20.0%	2 2.1%	22 23.2%	6 6.3%	1 1.1%	7 7.4%	13 13.7%	2 2.1%
※無回答 (n=7)	0 0.0%	1 14.3%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 71.4%
全体 (n=860)	147 17.1%	80 9.3%	317 36.9%	75 8.7%	44 5.1%	10 1.2%	135 15.7%	44 5.1%	8 0.9%

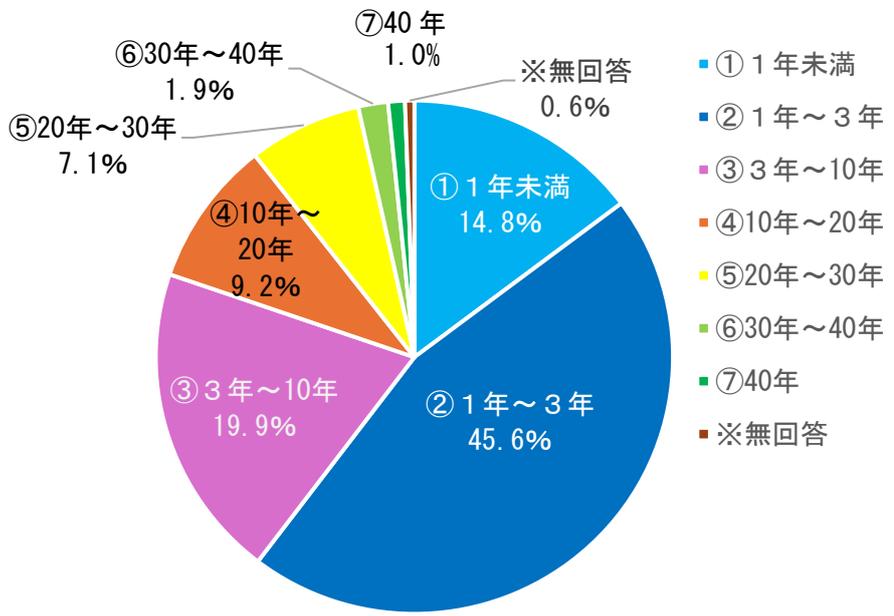
Q 6 あなたは何年福島県に住んでいますか。

○「1～3年未満」が、392人と全体の45.6%を占めている。また、「1年未満」、「3年～10年未満」を合わせた居住年数≪10年未満≫では、全体の80.3%となっている。

(1) 全体

n=860

期間	人数 (人)	割合 (%)
① 1年未満	127	14.8
② 1年～3年未満	392	45.6
③ 3年～10年未満	171	19.9
④ 10年～20年未満	79	9.2
⑤ 20年～30年未満	61	7.1
⑥ 30年～40年未満	16	1.9
⑦ 40年～	9	1.0
※無回答	5	0.6



(2) クロス集計

② (Q6「福島の居住年数」×Q3「年代」)

○若年層ほど福島の居住年数が短くなっている。

上段：人数 下段：%	① 1年未 満	② 1年～ 3年未 満	③ 3年～ 10年未 満	④ 10年～ 20年未 満	⑤ 20年～ 30年未 満	⑥ 30年～ 40年未 満	⑦ 40年～	無回答
① 20代 (n=370)	64 17.3%	254 68.6%	46 12.4%	1 0.3%	4 1.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.3%
② 30代 (n=265)	44 16.6%	113 42.6%	82 30.9%	25 9.4%	0 0.0%	1 0.4%	0 0.0%	0 0.0%
③ 40代 (n=112)	15 13.4%	21 18.8%	32 28.6%	28 25.0%	10 8.9%	2 1.8%	3 2.7%	0 0.0%
④ 50代 (n=76)	3 3.9%	2 2.6%	7 9.2%	19 25.0%	37 48.7%	6 7.9%	2 2.6%	0 0.0%
⑤ 60代 (n=22)	1 4.5%	1 4.5%	4 18.2%	4 18.2%	7 31.8%	4 18.2%	1 4.5%	0 0.0%
⑥ 70代～ (n=11)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 18.2%	3 27.3%	3 27.3%	3 27.3%	0 0.0%
※無回答 (n=4)	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 75.0%
全体 (n=860)	127 14.8%	392 45.6%	171 19.9%	79 9.2%	61 7.1%	16 1.9%	9 1.0%	4 0.5%

② (Q6「福島の居住年数」×Q4「国籍・地域」)

○「1年未満」、「1～3年未満」、「3年～10年未満」を合わせた「10年未満」では、「ベトナム」が99.0%となっており、「インドネシア」96.5%、「ネパール」94.8%、「ミャンマー」94.5%となっている。一方で、「中国」、「韓国」では「10年以上」が多くなっている。

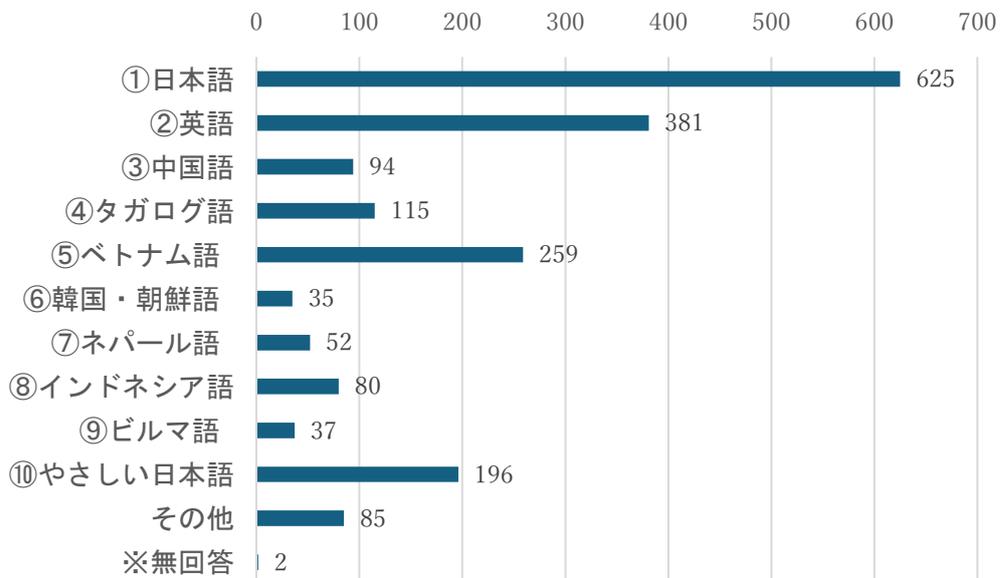
上段：人数 下段：%	① 1年未 満	② 1年～ 3年未 満	③ 3年～ 10年未 満	④ 10年～ 20年未 満	⑤ 20年～ 30年未 満	⑥ 30年～ 40年未 満	⑦ 40年～	無回答
① ベトナム (n=288)	33 11.5%	182 63.2%	70 24.3%	3 1.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
② 中国 (n=82)	9 11.0%	7 8.5%	16 19.5%	31 37.8%	17 20.7%	2 2.4%	0 0.0%	0 0.0%
③ フィリピン (n=125)	16 12.8%	34 27.2%	29 23.2%	16 12.8%	26 20.8%	2 1.6%	0 0.0%	2 1.6%
④ インドネシア (n=87)	18 20.7%	59 67.8%	7 8.0%	2 2.3%	1 1.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑤ 韓国 (n=29)	2 6.9%	1 3.4%	4 13.8%	3 10.3%	7 24.1%	5 17.2%	7 24.1%	0 0.0%
⑥ ネパール (n=57)	14 24.6%	31 54.4%	9 15.8%	2 3.5%	1 1.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑦ タイ (n=20)	4 20.0%	5 25.0%	3 15.0%	4 20.0%	3 15.0%	1 5.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑧ 米国 (n=16)	3 18.8%	2 12.5%	5 31.3%	6 37.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑨ ミャンマー (n=54)	17 31.5%	34 63.0%	0 0.0%	3 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他 (n=95)	11 11.6%	34 35.8%	27 28.4%	9 9.5%	6 6.3%	6 6.3%	2 2.1%	0 0.0%
※無回答 (n=7)	0 0.0%	3 42.9%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 42.9%
全体 (n=860)	127 14.8%	392 45.6%	171 19.9%	79 9.2%	61 7.1%	16 1.9%	9 1.0%	5 0.6%

Q7 あなたが理解できる言語は、次のどれですか。（母国語を含む）（あてはまるもの全てに○）

○理解可能な言語は「日本語」が72.7%（625人）と最も多く、次いで、「英語」44.3%（381人）、「ベトナム語」30.1%（259人）、「やさしい日本語」22.8%（196人）となっている。

n=860

言語	人数（人）	割合（%）
①日本語	625	72.7
②英語	381	44.3
③中国語	94	10.9
④タガログ語	115	13.4
⑤ベトナム語	259	30.1
⑥韓国・朝鮮語	35	4.1
⑦ネパール語	52	6.0
⑧インドネシア語	80	9.3
⑨ビルマ語	37	4.3
⑩やさしい日本語	196	22.8
その他	85	9.9
※無回答	2	0.2



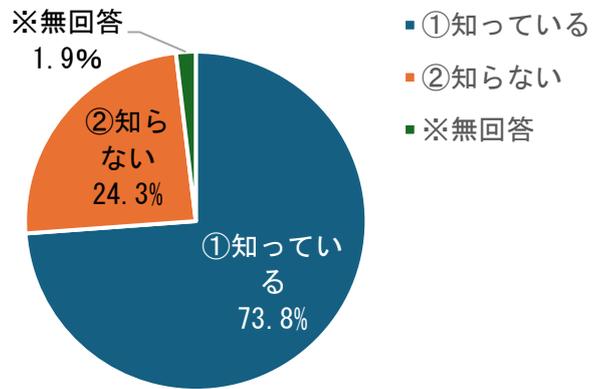
Q 8 あなたは「やさしい日本語」を知っていますか。

○やさしい日本語の認知度は、73.8% (635 人) となっている。

※やさしい日本語：難しい言葉を言い換えるなど相手に配慮した、わかりやすい日本語のことです。例：高台へ避難してください→「高いところへ逃げてください」

n=860

やさしい日本語	人数 (人)	割合 (%)
①知っている	635	73.8
②知らない	209	24.3
※無回答	16	1.9



II 日本語について

Q9 あなたの日本語の能力はどのくらいですか。(A～Dそれぞれ○は一つだけ)

○日本語能力は、「話す・聞く・読む・書く」の全ての能力において「少しできる」と回答した割合が最も多い。能力別に見ると「できる」、「少しできる」を合わせた《できる》は「話す」は80.6%、「聞く」は83.6%となっている。一方で、「読む」は《できる》が69.3%、「書く」は64.0%となっており、読解・記述面が低くなっている。

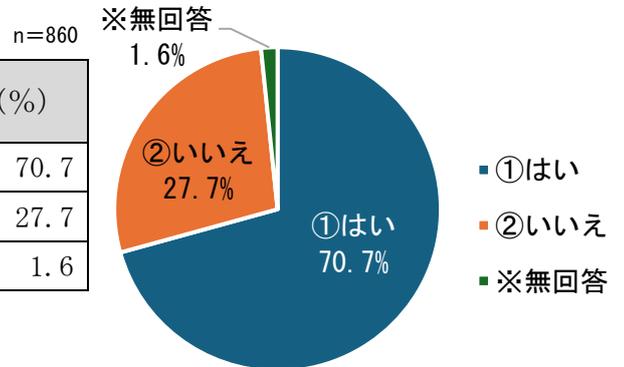
n=860

上段：人数 下段：%	①できる	②少しできる	③あまりできない	④できない	無回答
A 話す	286 33.3%	407 47.3%	133 15.5%	12 1.4%	22 2.6%
B 聞く	320 37.2%	399 46.4%	106 12.3%	7 0.8%	28 3.3%
C 読む	219 25.5%	377 43.8%	196 22.8%	29 3.4%	39 4.5%
D 書く	181 21.0%	370 43.0%	215 25.0%	46 5.3%	48 5.6%

Q10 あなたは、現在日本語を勉強していますか。

○70.7% (608人) が日本語を勉強している。

日本語を勉強しているか	人数 (人)	割合 (%)
①はい (→Q11へ)	608	70.7
②いいえ (→Q12へ)	238	27.7
※無回答	14	1.6



Q11 あなたは、日本語をどのように勉強していますか。(あてはまるもの全てに○)

【Q10で「①はい」を選択された方】

○「自分ひとりで勉強してる」が85.7% (521人) と最も多くなっている。

n=608

どのように勉強しているか	人数 (人)	割合 (%)
①自分ひとりで勉強している (教材、アプリ、テレビやラジオの講座など)	521	85.7
②家族や友人に教えてもらっている	85	14.0
③大学や日本語学校で勉強している	52	8.6
④ボランティアの日本語教室、国際交流協会の日本語教室で勉強している	26	4.3
⑤職場の日本語研修で勉強している	58	9.5
⑥先生に自宅に来てもらって勉強している (ネットのオンライン講座を含む)	50	8.2
その他	7	1.2
※無回答	4	0.7



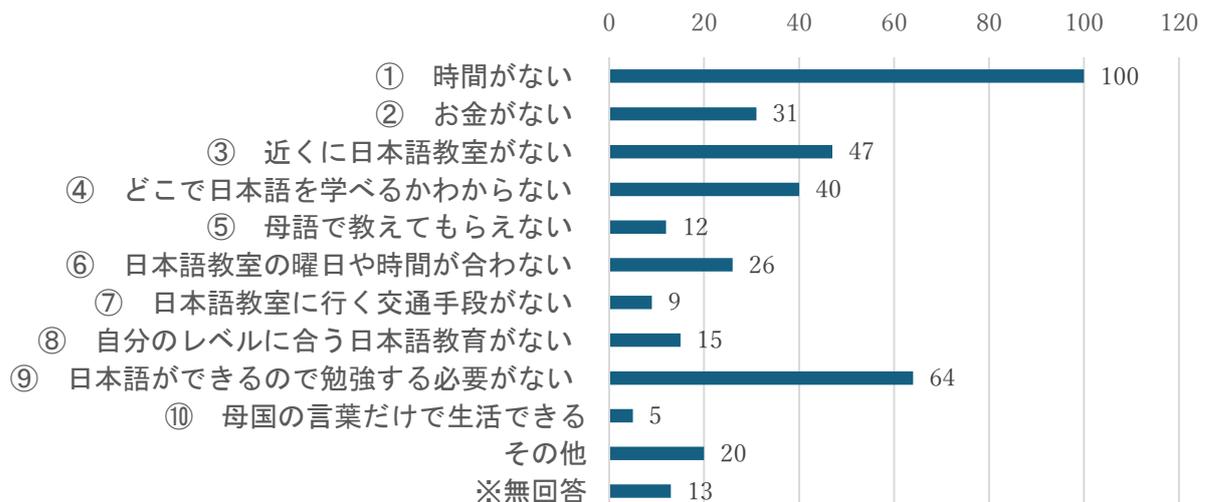
**Q12 日本語を勉強しないのはなぜですか。(あてはまるもの全てに○)
【10で「②いいえ」を選択された方】**

○日本語を勉強しない理由は、「時間がない」が最も多く全体の42.0%（100人）となっている。次いで、「日本語ができるので勉強する必要がない」26.9%（64人）、「近くに日本語教室がない」19.7%（47人）、「どこで日本語が学べるかわからない」16.8%（40人）となっている。

(1) 全体

n=238

日本語を勉強しないのはなぜか	人数 (人)	割合 (%)
①時間がない	100	42.0
②お金がない	31	13.0
③近くに日本語教室がない	47	19.7
④どこで日本語を学べるかわからない	40	16.8
⑤母語で教えてもらえない	12	5.0
⑥日本語教室の曜日や時間が合わない	26	10.9
⑦日本語教室に行く交通手段がない	9	3.8
⑧自分のレベルに合った日本語教育が受けられない	15	6.3
⑨日本語ができるので勉強する必要がない	64	26.9
⑩母国の言葉だけで生活できる	5	2.1
その他	20	8.4
※無回答	13	5.5



(2) クロス集計

(Q12「日本語を勉強しないのはなぜか」×Q9「在留資格」)

○日本語を勉強しない理由は、「その他」を除く「日本人の配偶者」、「技能実習」、「技術・人文知識・国際業務」、「特定技能」では、「時間がない」が最も多くなっている。

また、「永住者」では「日本語ができるので勉強する必要がない」が多くなっている。

上段：人数 下段：%	①時間がない	②お金がない	③近くに日本語教室がない	④どこで日本語を学べるかわからない	⑤母語で教えてもらえない	⑥教室の曜日、時間があわない	⑦交通手段がない	⑧レベルが合わない	⑨日本語ができるので勉強する必要がない	⑩母国の言葉だけで生活できる	その他	※無回答
①永住者 (n=94)	29 22.0%	6 4.5%	13 9.8%	14 10.6%	3 2.3%	9 6.8%	0 0.0%	4 3.0%	41 31.1%	0 0.0%	7 5.3%	6 4.5%
②日本人の配偶者 (n=40)	20 29.9%	7 10.4%	9 13.4%	5 7.5%	3 4.5%	4 6.0%	2 3.0%	3 4.5%	10 14.9%	2 3.0%	2 3.0%	0 0.0%
③技能実習 (n=45)	22 26.5%	10 12.0%	13 15.7%	11 13.3%	4 4.8%	6 7.2%	5 6.0%	4 4.8%	1 1.2%	2 2.4%	0 0.0%	5 6.0%
④技術・人文・国際 (n=21)	11 29.7%	2 5.4%	4 10.8%	3 8.1%	1 2.7%	1 2.7%	0 0.0%	1 2.7%	9 24.3%	0 0.0%	4 10.8%	1 2.7%
⑤留学 (n=3)	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%
⑥家族滞在 (n=3)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%
⑦特定技能 (n=14)	7 31.8%	1 4.5%	3 13.6%	2 9.1%	0 0.0%	3 13.6%	1 4.5%	2 9.1%	1 4.5%	0 0.0%	1 4.5%	1 4.5%
その他 (n=17)	9 29.0%	3 9.7%	5 16.1%	3 9.7%	1 3.2%	3 9.7%	1 3.2%	1 3.2%	1 3.2%	0 0.0%	4 12.9%	0 0.0%
※無回答 (n=1)	1 14.5%	1 4.8%	0 8.1%	0 4.8%	0 1.6%	0 4.8%	0 1.6%	0 1.6%	0 1.6%	0 0.0%	0 6.5%	0 0.0%
全体 (n=238)	100 26.2%	31 8.1%	47 12.3%	40 10.5%	12 3.1%	26 6.8%	9 2.4%	15 3.9%	64 16.8%	5 1.3%	20 5.2%	13 3.4%

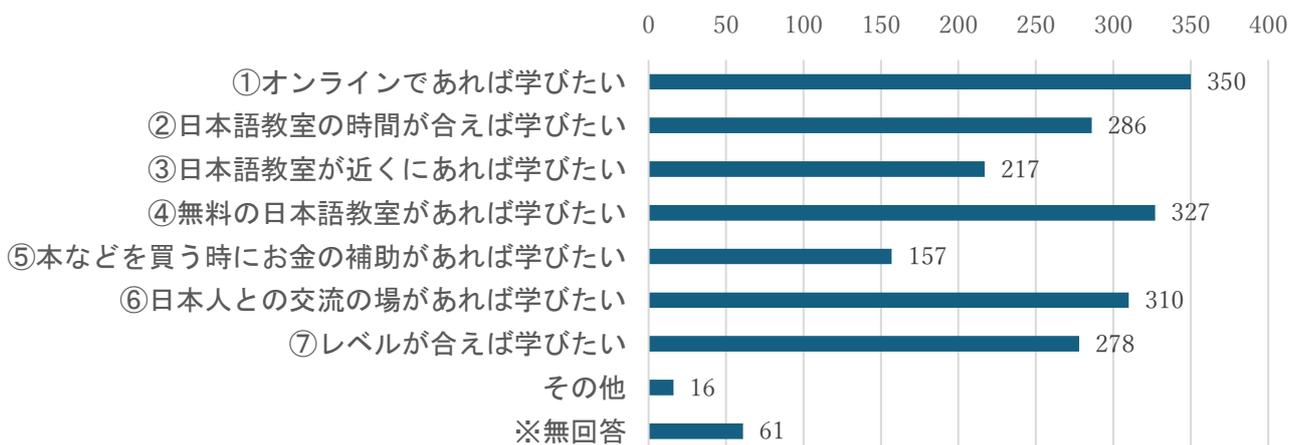
Q13 どのような環境があれば日本語を学びたいですか。（当てはまるもの全てに○）

○「オンラインであれば学びたい」が40.7%（350人）と最も多くなっている。次いで、「無料の日本語教室があれば学びたい」38.0%（327人）、
「日本人との交流の場があれば学びたい」36.0%（310人）となっている。

（1） 全体

n=860

どのような環境があれば日本語を学びたいか	人数（人）	割合（%）
①オンラインであれば学びたい	350	40.7
②日本語教室の時間が合えば学びたい	286	33.3
③日本語教室が近くにあれば学びたい	217	25.2
④無料の日本語教室があれば学びたい	327	38.0
⑤日本語学習の本など教材を買う時にお金の補助があれば学びたい	157	18.3
⑥日本人との交流の場があれば学びたい	310	36.0
⑦自分の学びたいこと、学びたい内容、レベルが合えば学びたい	278	32.3
その他	16	1.9
※無回答	61	7.1



(2) クロス集計

① (Q13「どのような環境があれば日本語を学びたいか」×Q1「地域別」)

○地域別に見ると大きな差は見られないものの、南会津地域では「オンライン」による日本語学習を求める割合が多く、県南地域では「無料の日本語教室」を求める割合がやや多くなっている。

上段：人数 下段：%	①オンライン	②日本語教室の時間が合えば	③日本語教室が近くにあれば	④無料の日本語教室があれば	⑤教材を購入する補助金があれば	⑥日本人との交流の場があれば	⑦自分の学びたいこと、内容、レベルがあれば	その他	※無回答
県北 (n=265)	103 17.5%	84 14.3%	66 10.8%	99 16.3%	44 7.9%	86 15.6%	78 13.8%	3 0.5%	18 3.1%
県中 (n=206)	84 17.4%	68 14.1%	47 9.7%	81 16.8%	38 7.9%	72 14.9%	73 15.1%	7 1.4%	13 2.7%
県南 (n=88)	38 17.5%	30 13.8%	23 10.6%	45 20.7%	21 9.7%	28 12.9%	23 10.6%	1 0.5%	8 3.7%
会津 (n=84)	36 16.6%	35 16.1%	25 11.5%	25 11.5%	17 7.8%	41 18.9%	33 15.2%	1 0.5%	4 1.8%
南会津 (n=13)	7 23.3%	3 10.0%	4 13.3%	3 10.0%	2 6.7%	4 13.3%	6 20.0%	0 0.0%	1 3.3%
相双 (n=53)	25 16.9%	22 14.9%	18 12.2%	24 16.2%	13 8.8%	23 15.5%	17 11.5%	1 0.7%	5 3.4%
いわき (n=143)	53 17.2%	42 13.6%	33 10.7%	47 15.2%	20 6.5%	55 17.8%	46 14.9%	3 1.0%	10 3.2%
※無回答 (n=8)	4 19.0%	2 9.5%	1 4.8%	3 14.3%	2 9.5%	1 4.8%	2 9.5%	4 19.0%	2 9.5%
全体 (n=860)	350 17.4%	286 14.3%	217 10.8%	327 16.3%	157 7.8%	310 15.5%	278 13.9%	16 0.8%	61 3.0%

② (Q13「どのような環境があれば日本語を学びたいか」×Q5「在留資格別」)

○在留資格別に見ると、「技能実習」、「特定技能」では「オンライン」による日本語学習環境を希望する声が多く、次いで「無料の日本語教室」、「日本人との交流の場」も多くなっている。「技術・人文知識・国際業務」、「留学」、「家族滞在」では、「日本人との交流の場」も多くなっている。「永住者」では、「無料の日本語教室」が最も多くなっている。

上段：人数 下段：%	①オンライン	②日本語教室の時間が合えば	③日本語教室が近くにあれば	④無料の日本語教室があれば	⑤教材を購入する補助金があれば	⑥日本人との交流の場があれば	⑦自分の学びたいこと、内容、レベルがあれば	その他	※無回答
①永住者 (n=147)	28 9.5%	40 13.6%	36 12.2%	58 19.7%	17 5.8%	36 12.2%	47 16.0%	6 2.0%	26 8.8%
②日本人の配偶者等 (n=80)	29 17.3%	27 16.1%	20 11.9%	30 17.9%	10 6.0%	21 12.5%	24 14.3%	4 2.4%	3 1.8%
③技能実習 (n=317)	161 20.0%	119 14.8%	91 11.3%	125 15.5%	68 8.5%	127 15.8%	96 11.9%	2 0.2%	15 1.9%
④技術・人文知識・国際業務 (n=75)	27 14.1%	26 13.5%	19 9.9%	27 14.1%	14 7.3%	37 19.3%	36 18.8%	1 0.5%	5 2.6%
⑤留学 (n=44)	22 17.6%	17 13.6%	12 9.6%	17 13.6%	12 9.6%	24 19.2%	19 15.2%	0 0.0%	2 1.6%
⑥家族滞在 (n=10)	3 11.5%	4 15.4%	2 7.7%	6 23.1%	2 7.7%	5 19.2%	4 15.4%	0 0.0%	0 0.0%
⑦特定技能 (n=135)	60 21.5%	34 12.2%	25 9.0%	49 17.6%	26 9.3%	42 15.1%	39 14.0%	1 0.4%	3 1.1%
その他 (n=44)	20 19.6%	17 16.7%	10 9.8%	14 13.7%	7 6.9%	17 16.7%	11 10.8%	2 2.0%	4 3.9%
無回答 (n=8)	0 0.0%	2 16.7%	2 16.7%	1 8.3%	1 8.3%	1 8.3%	2 16.7%	0 0.0%	3 25.0%
全体 (n=860)	350 17.5%	286 14.3%	217 10.8%	327 16.3%	157 7.8%	310 15.5%	278 13.9%	16 0.8%	61 3.0%

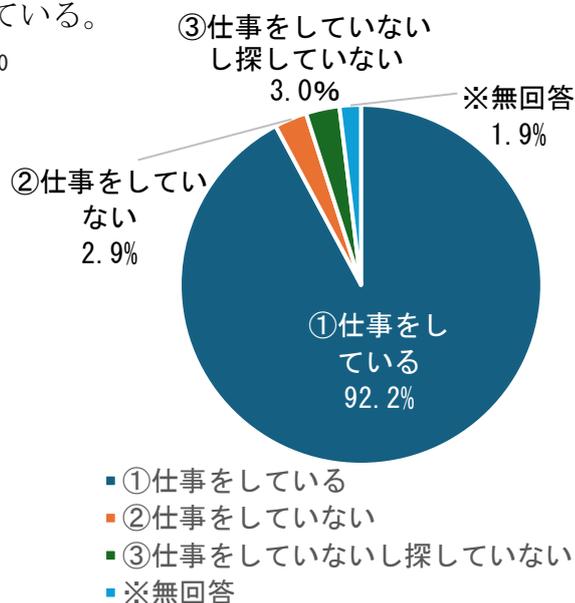
Ⅲ 仕事について

Q14 あなたは現在仕事をしていますか。

○仕事をしている人が、92.2% (793人) となっている。

n=860

仕事をしているか	人数 (人)	割合 (%)
①仕事をしている (→Q15へ)	793	92.2
②仕事をしていない (いま仕事を探している) (→Q17へ)	25	2.9
③仕事をしていない (いまは仕事を探していない) (→Q17へ)	26	3.0
※無回答	16	1.9



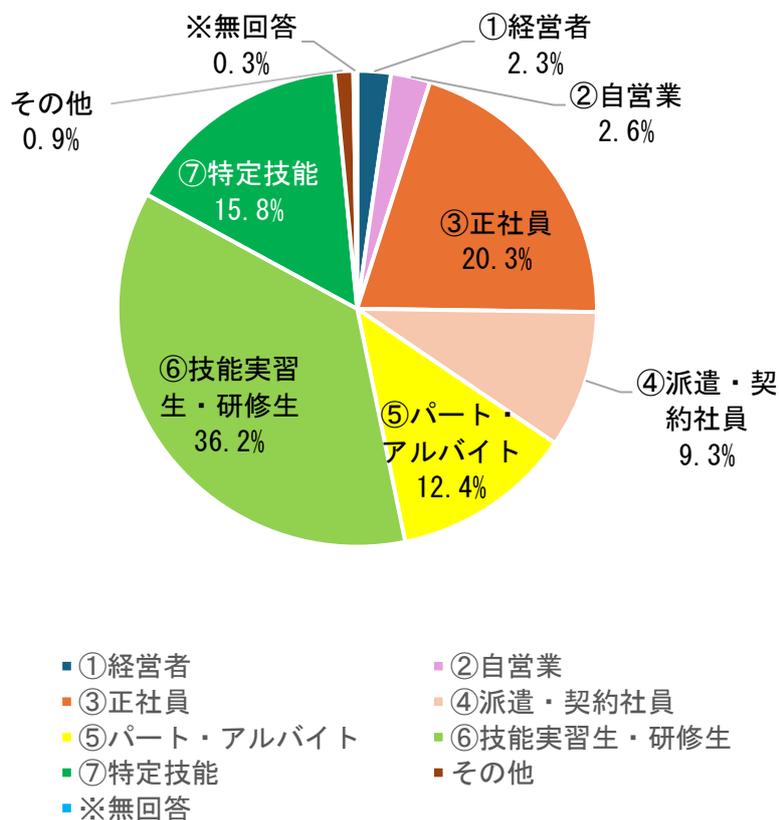
Q15 現在、どのような働き方で仕事をしていますか。

【Q14で①を選択された方】

○「技能実習生・研修生」が36.2% (287人) と最も多く、次いで「正社員」20.3% (161人)、「特定技能」15.8% (125人) となっており、「経営者」や「自営業」はいずれも少数となっている。

n=793

どのような働き方か	人数 (人)	割合 (%)
①経営者	18	2.3
②自営業 (家事手伝い、自由業を含む)	21	2.6
③正社員	161	20.3
④派遣・契約社員	74	9.3
⑤パート・アルバイト	98	12.4
⑥技能実習生・研修生	287	36.2
⑦特定技能	125	15.8
その他	7	0.9
※無回答	2	0.3



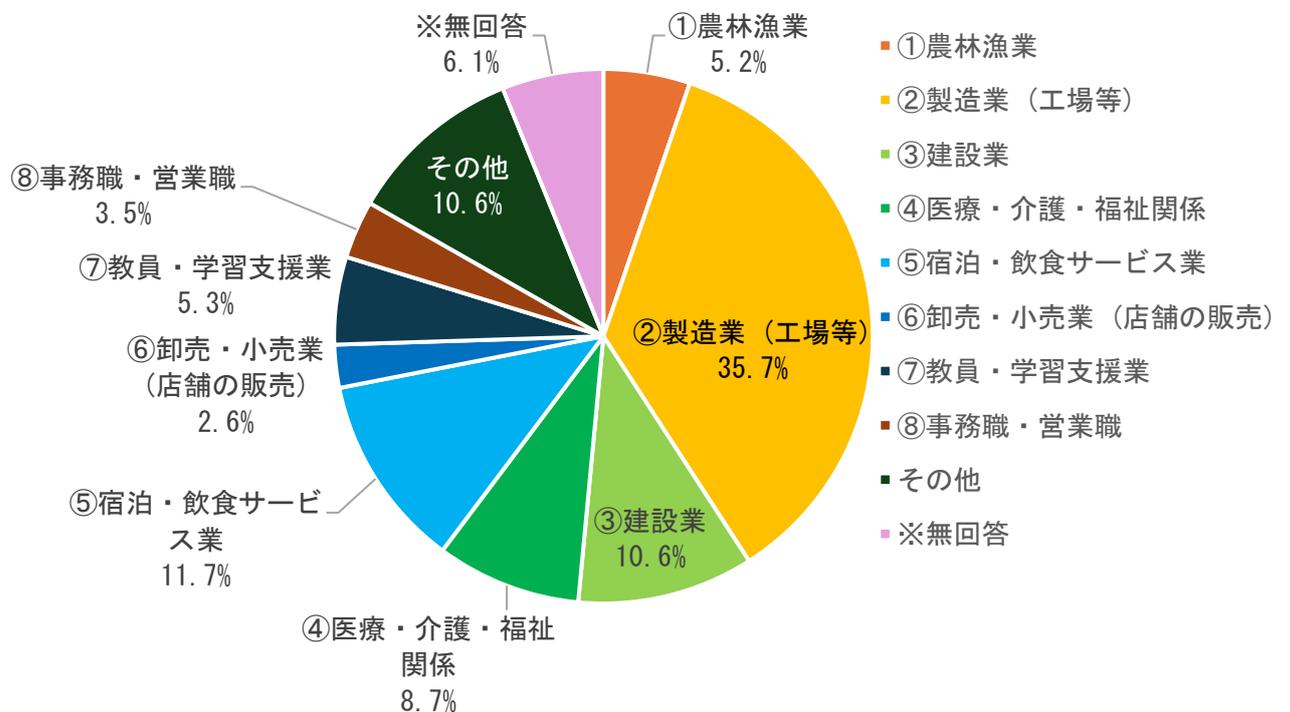
Q16 どのような分野で仕事をしていますか。

【Q14で①を選択された方】

○製造業（工場等）が35.7%（283人）と最も多く、次いで、「宿泊・飲食サービス業」11.7%（93人）、「建設業」10.6%（84人）となっている。

n=793

仕事内容	人数（人）	割合（%）
①農林漁業	41	5.2
②製造業（工場等）	283	35.7
③建設業	84	10.6
④医療・介護・福祉関係	69	8.7
⑤宿泊・飲食サービス業	93	11.7
⑥卸売・小売業（店舗の販売）	21	2.6
⑦教員・学習支援業	42	5.3
⑧事務職・営業職	28	3.5
その他	84	10.6
※無回答	48	6.1

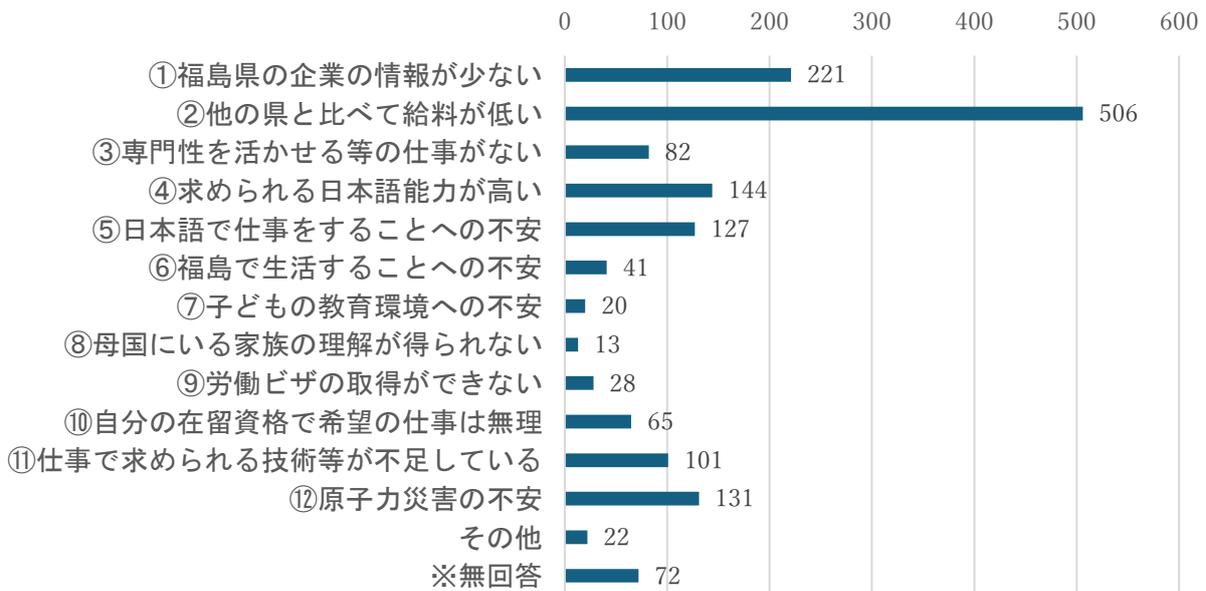


Q17 あなたや他の外国人が福島県で仕事をするとき課題となること（困っていること）は何だと思いますか。※〇は3つまで

○「他の県と比べて給料が低い」が58.8%（506人）と最も多く、次いで「福島県の企業の情報が少ない」25.7%（221人）となっている。

n=860

仕事をするとき課題になること	人数（人）	割合（%）
①福島県の企業の情報が少ない	221	25.7
②他の県と比べて給料が低い	506	58.8
③専門性を活かせる仕事がない、やりがいのある仕事がない	82	9.5
④求められる日本語能力が高い	144	16.7
⑤日本語で仕事をすることへの不安	127	14.8
⑥福島で生活することへの不安	41	4.8
⑦子どもの教育環境への不安	20	2.3
⑧母国にいる家族の理解が得られない	13	1.5
⑨労働ビザの取得ができない	28	3.3
⑩自分の在留資格では、希望する仕事ができない	65	7.6
⑪就職しようとしている仕事で求められる技術、知識、能力、経験が自分に足りていない	101	11.7
⑫原子力災害の不安	131	15.2
その他	22	2.6
※無回答	72	8.4

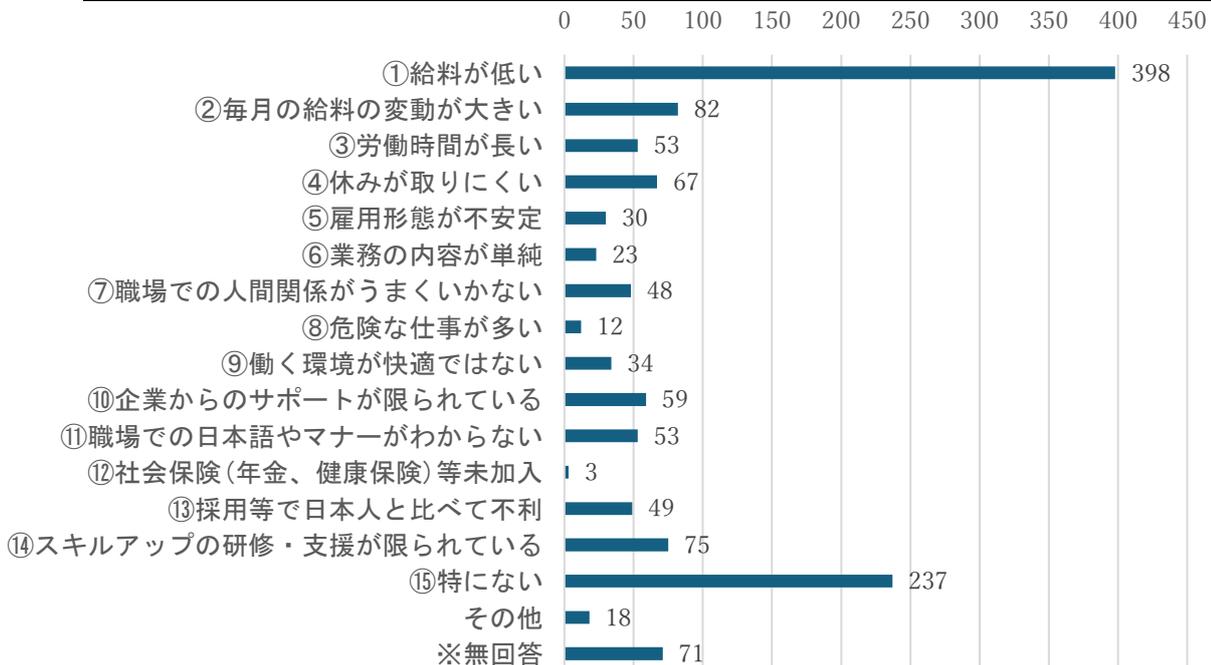


Q18 あなたが今の仕事について困っていることを教えてください。（あてはまるもの全てに○）

○「給料が低い」が46.3%（398人）と最も多くなっている。

n=860

仕事で困っていること	人数（人）	割合（%）
①給料が低い	398	46.3
②毎月の給料の変動が大きい	82	9.5
③労働時間が長い	53	6.2
④休みが取りにくい	67	7.8
⑤雇用形態が不安定である	30	3.5
⑥業務の内容が単純である・つまらない	23	2.7
⑦職場での人間関係がうまくいかない	48	5.6
⑧危険な仕事が多い	12	1.4
⑨働く環境が快適ではない	34	4.0
⑩企業からの本人及び家族への生活面のサポートが限られている	59	6.9
⑪職場での日本語やマナーがわからない	53	6.2
⑫社会保険（年金、健康保険）に加入させてもらえない	3	0.3
⑬採用、配属、昇進面で日本人と比べて不利に扱われている	49	5.7
⑭スキルアップのための研修・支援が限られている	75	8.7
⑮特にない	237	27.6
その他	18	2.1
※無回答	71	8.3



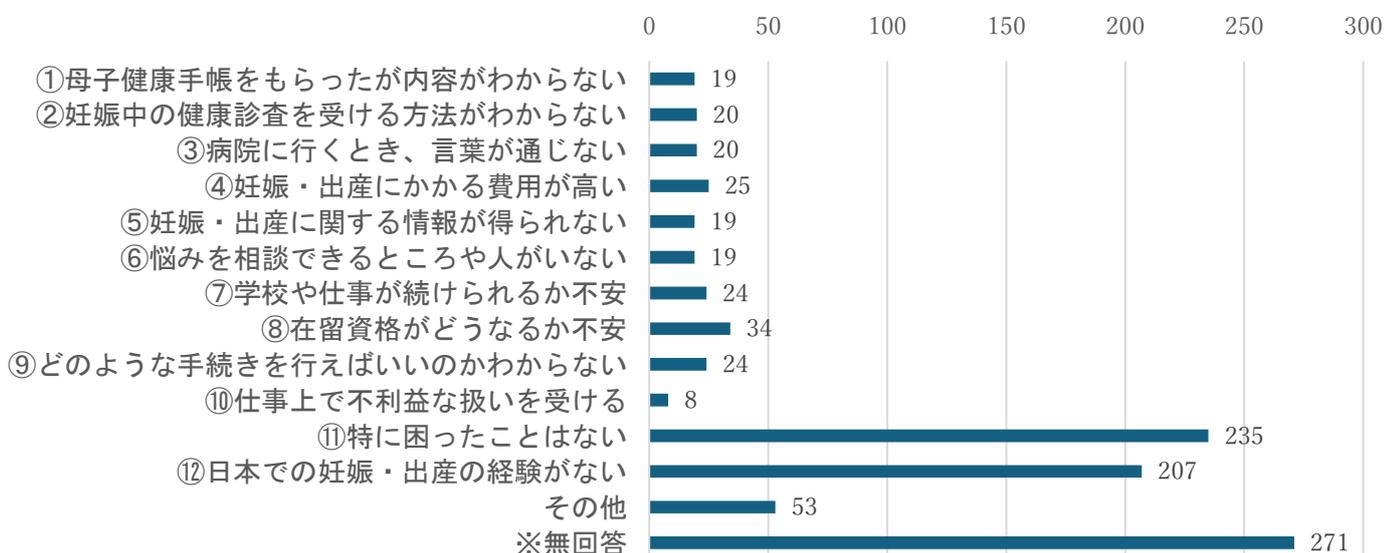
IV 出産・子育てについて

Q19 あなた及び配偶者が日本において妊娠・出産について困っている（困った）ことはありますか。（あてはまるもの全てに○）

○無回答以外では、「自分及び配偶者（パートナー含む）に日本での妊娠・出産の経験がない」24.1%（207人）、「特に困ったことはない」27.3%（235人）と多くなっている一方で、具体的な困りごととしては、「在留資格がどうなるか不安」、「妊娠・出産にかかる費用が高い」、「学校や仕事が続けられるか不安」、「子どもが生まれた後、どのような手続きを行えばいいのかわからない」などとなっている。

n=860

妊娠・出産で困ったこと	人数 (人)	割合 (%)
①母子健康手帳をもらったが内容がわからない	19	2.2
②妊娠中の健康診査を受ける方法がわからない	20	2.3
③子どもを産むために病院に行くとき、言葉が通じない	20	2.3
④妊娠・出産にかかる費用が高い	25	2.9
⑤妊娠・出産に関する情報が得られない	19	2.2
⑥妊娠・出産についての悩みを相談できるところや人がいない	19	2.2
⑦学校や仕事が続けられるか不安	24	2.8
⑧在留資格がどうなるか不安	34	4.0
⑨子どもが生まれた後、どのような手続きを行えばいいのかわからない	24	2.8
⑩妊娠・出産・育児休業などを理由として仕事上で不利益な扱いを受ける	8	0.9
⑪特に困ったことはない	235	27.3
⑫自分及び配偶者（パートナー含む）に日本での妊娠・出産の経験がない	207	24.1
その他	53	6.2
※無回答	271	31.5

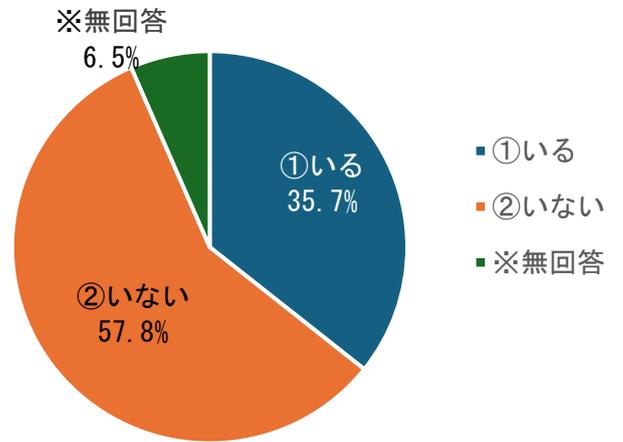


Q20 あなたは子どもはいますか。

○子供が「いる」のは、35.7% (307人) となっている。

n=860

子どもはいるか	人数(人)	割合 (%)
①いる	307	35.7
②いない	497	57.8
※無回答	56	6.5



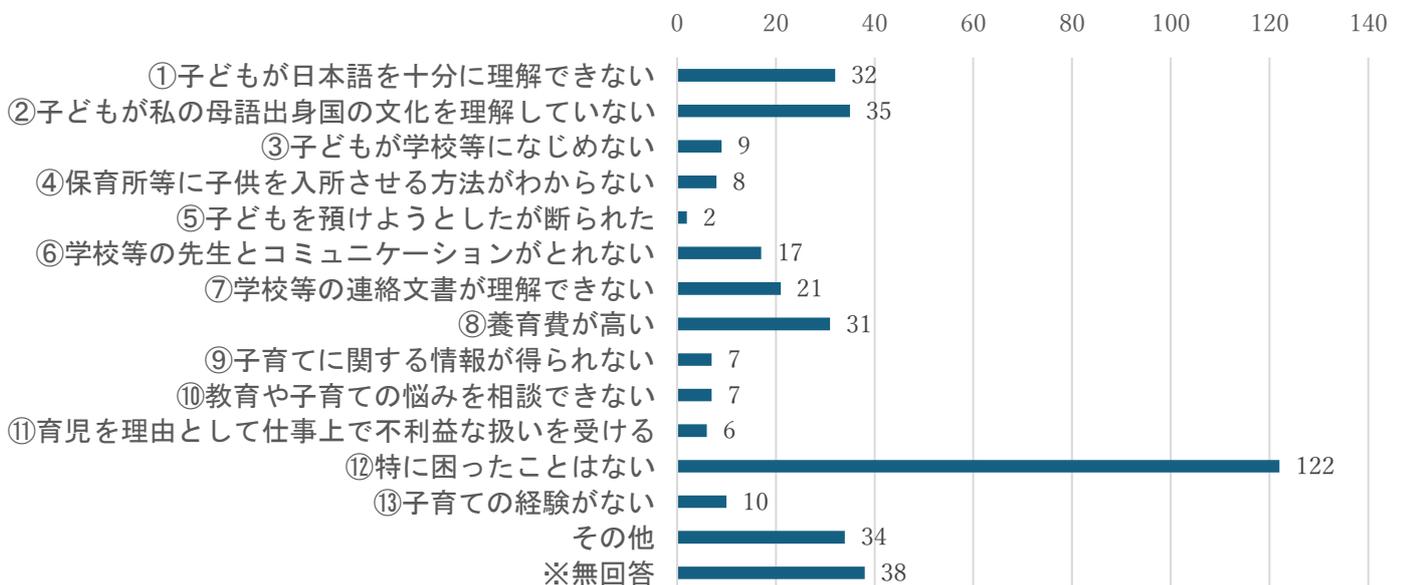
Q21 子育てや教育で困っていることはありますか。（あてはまるもの全てに○）

【Q20で①を選択された方】

○「特に困ったことはない」が39.7%（122人）と最も多くなっている。一方で、具体的な困りごととしては、「子どもが日本語を十分に理解できない」、「子どもが私の母語や私の出身国の文化を十分に理解していない」、「養育費が高い」などとなっている。

n=307

子育て等で困っていること	人数 (人)	割合 (%)
①子どもが日本語を十分に理解できない	32	10.4
②子どもが私の母語や私の出身国の文化を十分に理解していない	35	11.4
③子どもが学校・保育所・幼稚園等になじめない(いじめられている)	9	2.9
④保育所や幼稚園等に子供を入所させる方法がわからない	8	2.6
⑤子どもを預けようとしたが断られた	2	0.7
⑥学校・保育所・幼稚園などの先生とコミュニケーションがうまくとれない	17	5.5
⑦学校・保育所・幼稚園などからの連絡文書が理解できない	21	6.8
⑧養育費が高い	31	10.1
⑨子育てに関する情報が得られない	7	2.3
⑩教育や子育てについての悩みを相談できるところや人がいない	7	2.3
⑪育児を理由として仕事上で不利益な扱いを受ける	6	2.0
⑫特に困ったことはない	122	39.7
⑬子育ての経験がない	10	3.3
その他	34	11.1
※無回答	38	4.4



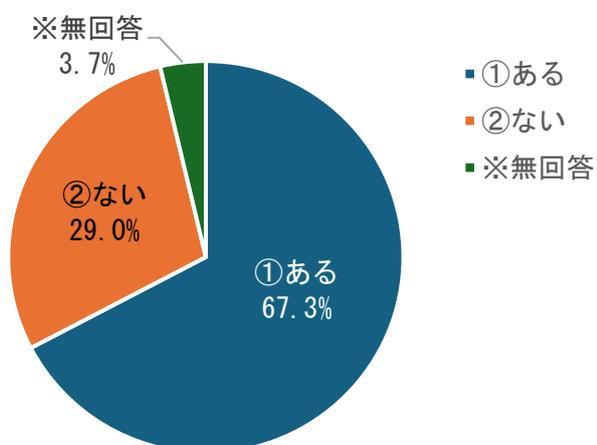
V 生活について

Q22 病院で診てもらったことはありますか。

○病院で受診してもらったことが「ある」のは、67.3% (579人) となっている。

n=860

病院で診てもらったこと	人数 (人)	割合 (%)
① ある (→Q23.24へ)	579	67.3
② ない (→Q25へ)	249	29.0
※無回答	32	3.7



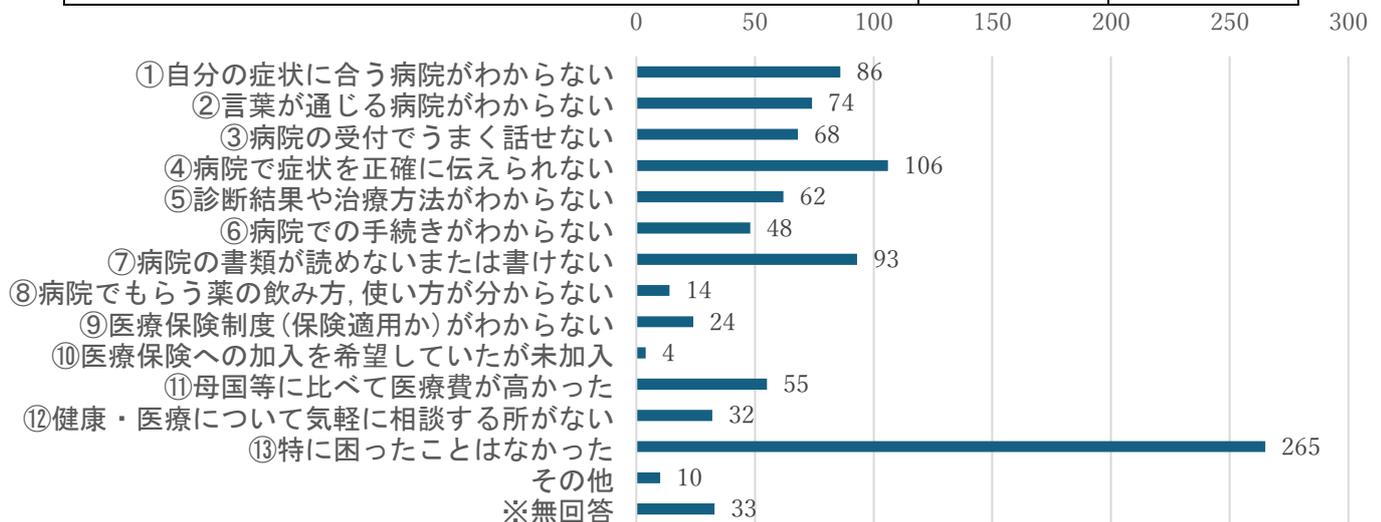
Q23 病院に行ってから困ったことはありますか。（あてはまるもの全てに○）

【Q22で①を選択された方】

○「特に困ったことはなかった」が45.8%（265人）と最も多くなっている。一方で、具体的な困りごととしては、「病院で症状を正確に伝えられなかった」で18.3%（106人）で最も多く、次いで、「病院の書類が読めなかったり、書けなかったりした」16.1%（93人）、「自分の症状に合う診察や治療を受けられる病院がどこにあるかわからなかった」14.9%（86人）となっている。

n=579

病院に行ってから困ったこと	人数（人）	割合（%）
①自分の症状に合う診察や治療を受けられる病院がどこにあるかわからなかった	86	14.9
②言葉が通じる病院がどこにあるかわからなかった	74	12.8
③病院の受付でうまく話せなかった	68	11.7
④病院で症状を正確に伝えられなかった	106	18.3
⑤診断結果や治療方法がわからなかった	62	10.7
⑥病院での手続きがわからなかった	48	8.3
⑦病院の書類が読めなかったり、書けなかったりした	93	16.1
⑧病院でもらう薬の飲み方や使い方がわからなかった	14	2.4
⑨医療保険制度（保険が適用されるかどうか）がわからなかった	24	4.1
⑩医療保険への加入を希望していたが加入できていなかった	4	0.7
⑪母国等に比べて医療費が高かった	55	9.5
⑫健康・医療について気軽に相談できるところがなかった	32	5.5
⑬特に困ったことはなかった	265	45.8
その他	10	1.7
※無回答	33	5.7



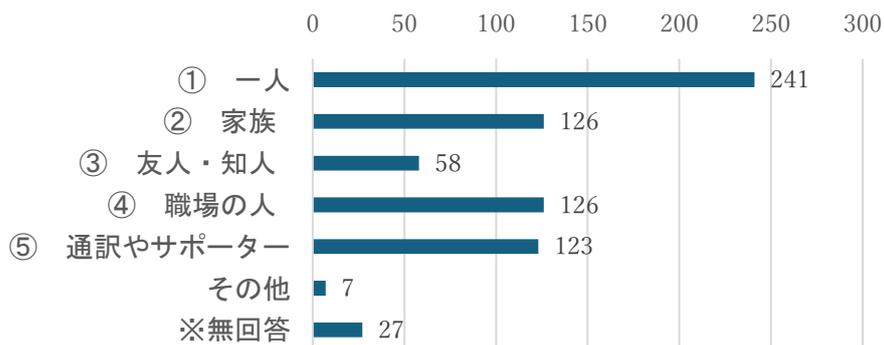
Q24 誰と一緒に病院に行きましたか。（あてはまるもの全てに○）

【Q22で①を選択された方】

○「一人」で行ったが41.6%（241人）最も多く、次いで「家族」21.8%（126人）、「職場の人」21.8%（126人）と一緒にいったとなっている。

n=579

誰と一緒に病院に行きましたか	人数（人）	割合（%）
①一人	241	41.6
②家族	126	21.8
③友人・知人	58	10.0
④職場の人	126	21.8
⑤通訳やサポーター	123	21.2
その他	7	1.2
※無回答	27	4.7

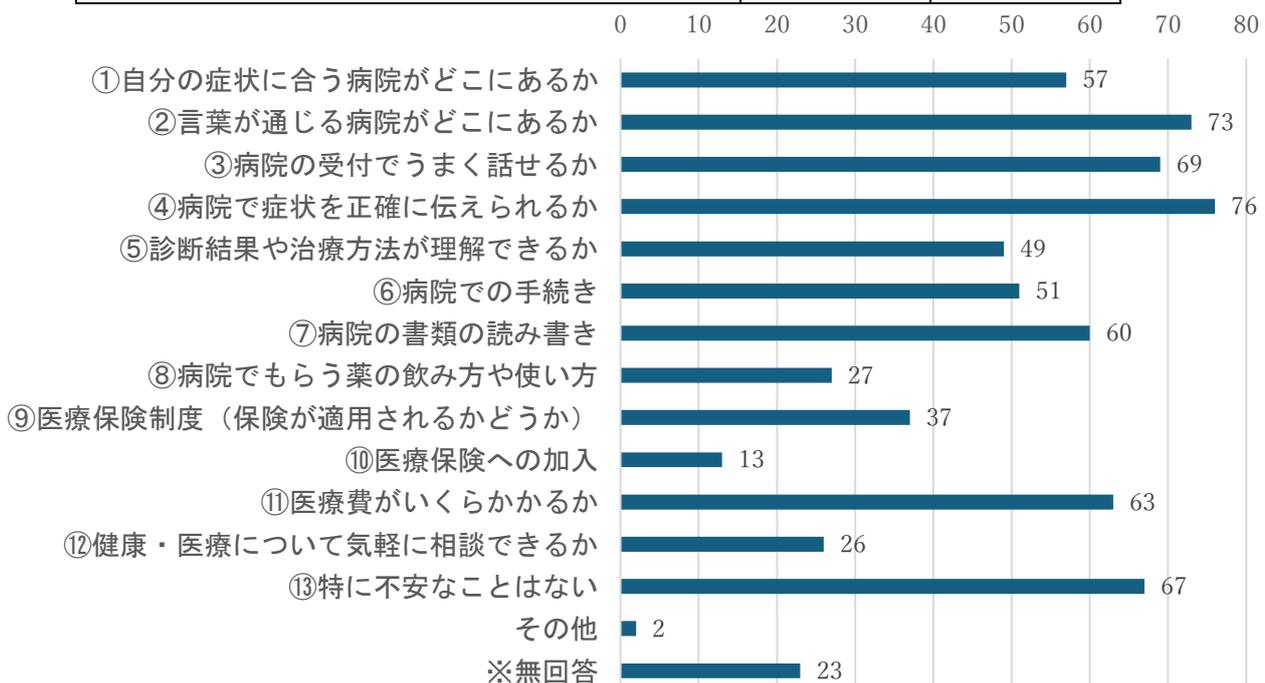


Q25 日本の病院に行く場合、不安なことはありますか。（あてはまるもの全てに○）

【Q22で②を選択された方】

○「病院で症状を正確に伝えられるか」が30.5%（76人）最も多く、次いで「言葉が通じる病院がどこにあるか」29.3%（73人）、「病院の受付でうまく話せるか」27.7%（69人）となっている。 n=249

病院に行く場合、不安なこと	人数（人）	割合（%）
①自分の症状に合う診察や治療を受けられる病院がどこにあるか	57	22.9
②言葉が通じる病院がどこにあるか	73	29.3
③病院の受付でうまく話せるか	69	27.7
④病院で症状を正確に伝えられるか	76	30.5
⑤診断結果や治療方法が理解できるか	49	19.7
⑥病院での手続き	51	20.5
⑦病院の書類の読み書き	60	24.1
⑧病院でもらう薬の飲み方や使い方	27	10.8
⑨医療保険制度（保険が適用されるかどうか）	37	14.9
⑩医療保険への加入	13	5.2
⑪医療費がいくらかかるか	63	25.3
⑫健康・医療について気軽に相談できるか	26	10.4
⑬特に不安なことはない	67	26.9
その他	2	0.8
※無回答	23	9.2



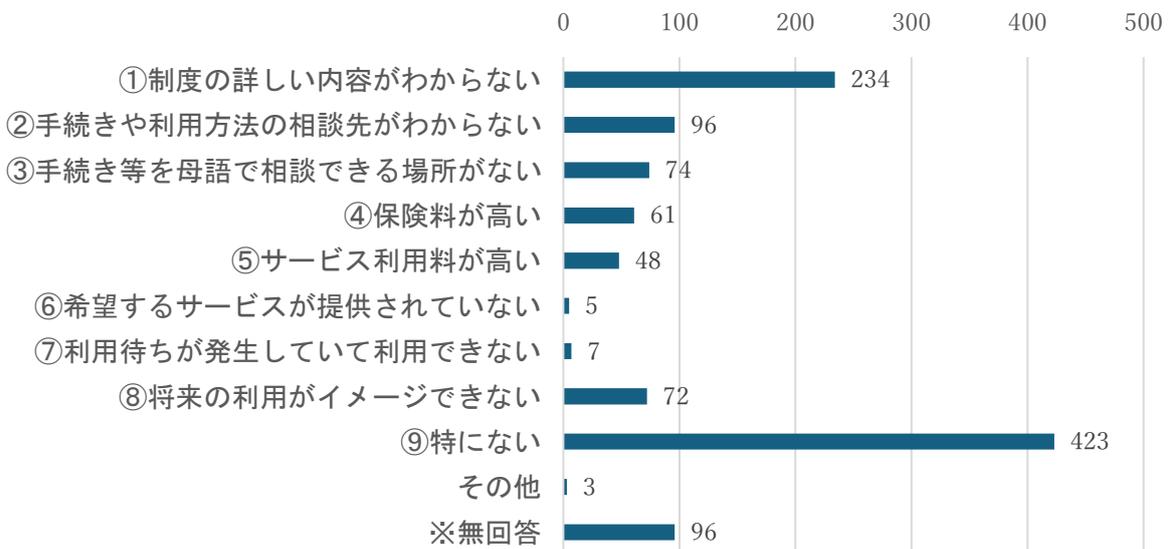
Q26 日本の公的な介護保険制度に関して困っていることはありますか。（あてはまるもの全てに○）

○「特にない」が49.2%（423人）で最も多く、次いで「制度の詳しい内容がよくわからない」が27.2%（234人）となっている。

ただし、回答者の73.8%（635人）が20～30代であるため、介護保険制度の主な対象年齢層ではない層が多く含まれていることから「特にない」が多い要因の一つと考えられる。一方で、「制度の詳しい内容がよくわからない」が比較的多くなっており、制度そのものへの理解不足が見られる。

n=860

介護保険制度について	人数（人）	割合（%）
①制度の詳しい内容がよくわからない	234	27.2
②手続きや利用方法についてどこに相談すればよいかわからない	96	11.2
③手続きや利用方法に関して母語で相談できる場所がない	74	8.6
④経済的な負担が大きい（保険料が高い）	61	7.1
⑤経済的な負担が大きい（サービス利用料が高い）	48	5.6
⑥希望するサービスが提供されていない	5	0.6
⑦利用待ちが発生していて利用できない	7	0.8
⑧将来の利用がイメージできない	72	8.4
⑨特にない	423	49.2
その他	3	0.3
※無回答	96	11.2



Q27 災害（地震や津波、台風、大雨、大雪など）で困ったことはありますか。（あてはまるもの全てに○）

○「特に困ったことはない」が最も多くなっている。ただし、福島県での居住期間を見ると、「1～3年未満が」全体の45.6%を占め、「10年未満」は80.3%に達していることから、多くの回答者の県内居住歴が比較的浅く、災害を実際に経験していないことが多い要因の一つと考えられる。

具体的な困りごととしては、「避難場所がわからなかった」が15.8%（136人）と最も多くなっている。次いで、「信頼できる情報をどこから得ればよいかわからなかった」14.5%（125人）、「警報・注意報などの避難に関する情報が、多言語で発信されていないためわからなかった」11.2%（96人）となっている。

（1）全体

n=860

災害で困ったこと	人数 (人)	割合 (%)
①信頼できる情報をどこから得ればよいかわからなかった	125	14.5
②情報の入手に時間がかかった	46	5.3
③警報・注意報などの避難に関する情報が、多言語で発信されていないためわからなかった	96	11.2
④警報・注意報などの避難に関する情報が、やさしい日本語で発信されていないためわからなかった	67	7.8
⑤困ったときに頼れる人がいなかった	61	7.1
⑥相談できる場所がわからなかった	55	6.4
⑦避難場所がわからなかった	136	15.8
⑧被災後の支援策があっても、情報が多言語で発信されていないためわからなかった	59	6.9
⑨被災後の支援策があっても、情報がやさしい日本語で発信されていないためわからなかった	41	4.8
⑩被災後の支援策があっても、利用方法・申請方法がわからなかった	76	8.8
⑪救急車の利用方法がわからなかった	43	5.0
⑫日本における災害がどういうものかわからなかった	73	8.5
⑬避難所がどのようなものかわからなかった	72	8.4
⑭特に困ったことはない	441	51.3
その他	6	0.7
※無回答	69	8.0



(2) クロス集計

(Q27「災害で困ったことはありますか」×Q5「在留資格」)

○在留資格別に見ると、「技能実習」では、「避難場所がわからなかった」が、「家族滞在」では「信頼できる情報の入手先がわからなかった」とする回答が最も多かった。

上段：人数 下段：%	①信頼できる情報の入手先がわからなかった	②情報の入手に時間がかかった	③避難情報が多言語で発信されていない	④避難情報がやさしい日本語で発信されていない	⑤困ったときに頼れる人がいなかった	⑥相談できる場所がわからなかった	⑦避難場所がわからなかった	⑧被災後の支援策が多言語で発信されていない
①永住者 (n=147)	23 10.3%	11 4.9%	14 6.3%	7 3.1%	16 7.2%	11 4.9%	13 5.8%	7 3.1%
②日本人の配偶者等 (n=80)	7 6.1%	3 2.6%	7 6.1%	4 3.5%	2 1.8%	2 1.8%	6 5.3%	5 4.4%
③技能実習 (n=317)	53 8.4%	18 2.9%	47 7.5%	31 4.9%	26 4.1%	22 3.5%	89 14.1%	25 4.0%
④技術・人文知識・国際業務 (n=75)	7 5.6%	3 2.4%	7 5.6%	6 4.8%	5 4.0%	7 5.6%	7 5.6%	8 6.5%
⑤留学 (n=44)	8 9.8%	5 6.1%	6 7.3%	5 6.1%	5 6.1%	4 4.9%	3 3.7%	6 7.3%
⑥家族滞在 (n=10)	3 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.7%	2 13.3%	0 0.0%	2 13.3%	1 6.7%
⑦特定技能 (n=135)	17 8.6%	6 3.0%	9 4.6%	8 4.1%	3 1.5%	4 2.0%	12 6.1%	6 3.0%
その他 (n=44)	6 9.7%	0 0.0%	4 6.5%	4 6.5%	1 1.6%	3 4.8%	3 4.8%	0 0.0%
※無回答 (n=8)	1 5.0%	0 0.0%	2 10.0%	1 5.0%	1 5.0%	2 10.0%	1 5.0%	1 5.0%
全体 (n=860)	125 8.5%	46 3.1%	96 6.5%	67 4.6%	61 4.2%	55 3.8%	136 9.3%	59 4.0%

※（Q27「災害で困ったことはありますか」×Q5「在留資格」）（2/2）

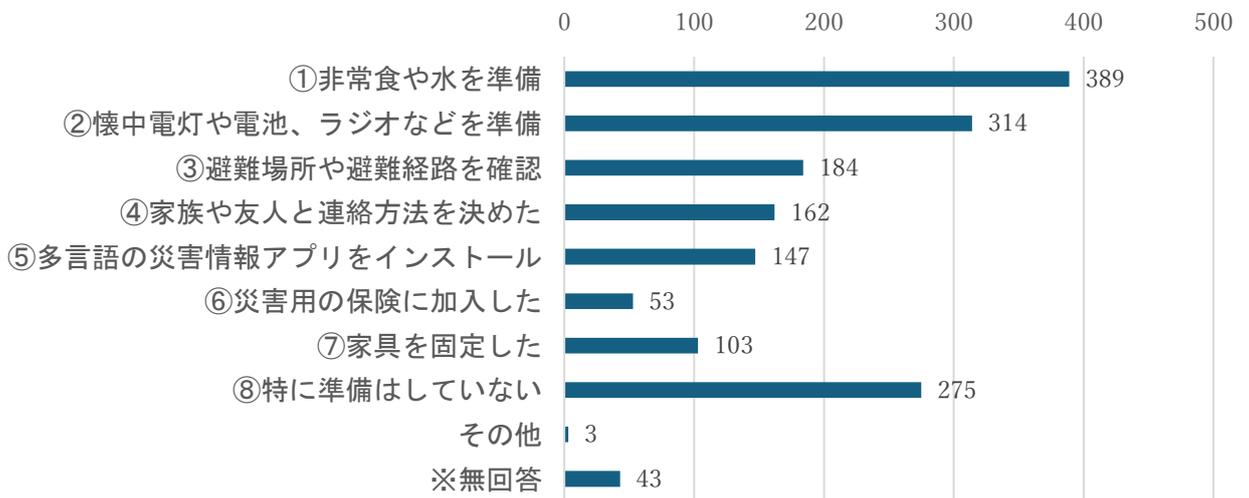
上段：人数 下段：%	⑨被災後 支援策が やさしい 日本語で 発信され ていない	⑩被災後 支援策の 利用方法 わからな かった	⑪救急車 の利用方 法がわか らなかつ た	⑫日本に おける災 害がどう いうもの かわから なかつた	⑬避難所 がどのよ うなもの かわから なかつた	⑭特に 困ったこ とはない	その他	※無回答
①永住者 (n=147)	5 2.2%	12 5.4%	3 1.3%	3 1.3%	2 0.9%	86 38.6%	0.0%	10 4.5%
②日本人の配偶者等 (n=80)	4 3.5%	7 6.1%	2 1.8%	3 2.6%	6 5.3%	50 43.9%	1 0.9%	5 4.4%
③技能実習 (n=317)	21 3.3%	39 6.2%	20 3.2%	47 7.5%	39 6.2%	128 20.3%	1 0.2%	23 3.7%
④技術・人文知識・国際業務 (n=75)	2 1.6%	3 2.4%	3 2.4%	7 5.6%	7 5.6%	42 33.9%	1 0.8%	9 7.3%
⑤留学 (n=44)	5 6.1%	3 3.7%	2 2.4%	3 3.7%	3 3.7%	17 20.7%	1 1.2%	6 7.3%
⑥家族滞在 (n=10)	0 0.0%	0 0.0%	1 6.7%	0 0.0%	0 0.0%	4 26.7%	0 0.0%	1 6.7%
⑦特定技能 (n=135)	3 1.5%	10 5.1%	8 4.1%	7 3.6%	11 5.6%	86 43.7%	1 0.5%	6 3.0%
その他 (n=44)	0 0.0%	0 0.0%	2 3.2%	2 3.2%	3 4.8%	28 45.2%	1 1.6%	5 8.1%
※無回答 (n=8)	1 5.0%	2 10.0%	2 10.0%	1 5.0%	1 5.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 20.0%
全体 (n=860)	41 2.8%	76 5.2%	43 2.9%	73 5.0%	72 4.9%	441 30.1%	6 0.4%	69 4.7%

Q28 災害の準備は何かしていますか。（あてはまるもの全てに○）

○「非常食や水の準備」が最も多く、次いで「懐中電灯や電池、ラジオを準備」となっている。一方で、回答者の32.0%は「特に準備をしていない」となっている。

n=860

災害の準備をしていますか	人数（人）	割合（%）
①非常食や水を準備している	389	45.2
②懐中電灯や電池、ラジオなどを準備している	314	36.5
③避難場所や避難経路を確認している	184	21.4
④家族や友人と連絡方法を決めている	162	18.8
⑤福島県防災アプリなどの多言語の災害情報アプリをインストールしている	147	17.1
⑥災害用の保険に加入している	53	6.2
⑦家具を固定している	103	12.0
⑧特に準備はしていない	275	32.0
その他	3	0.3
※無回答	43	5.0



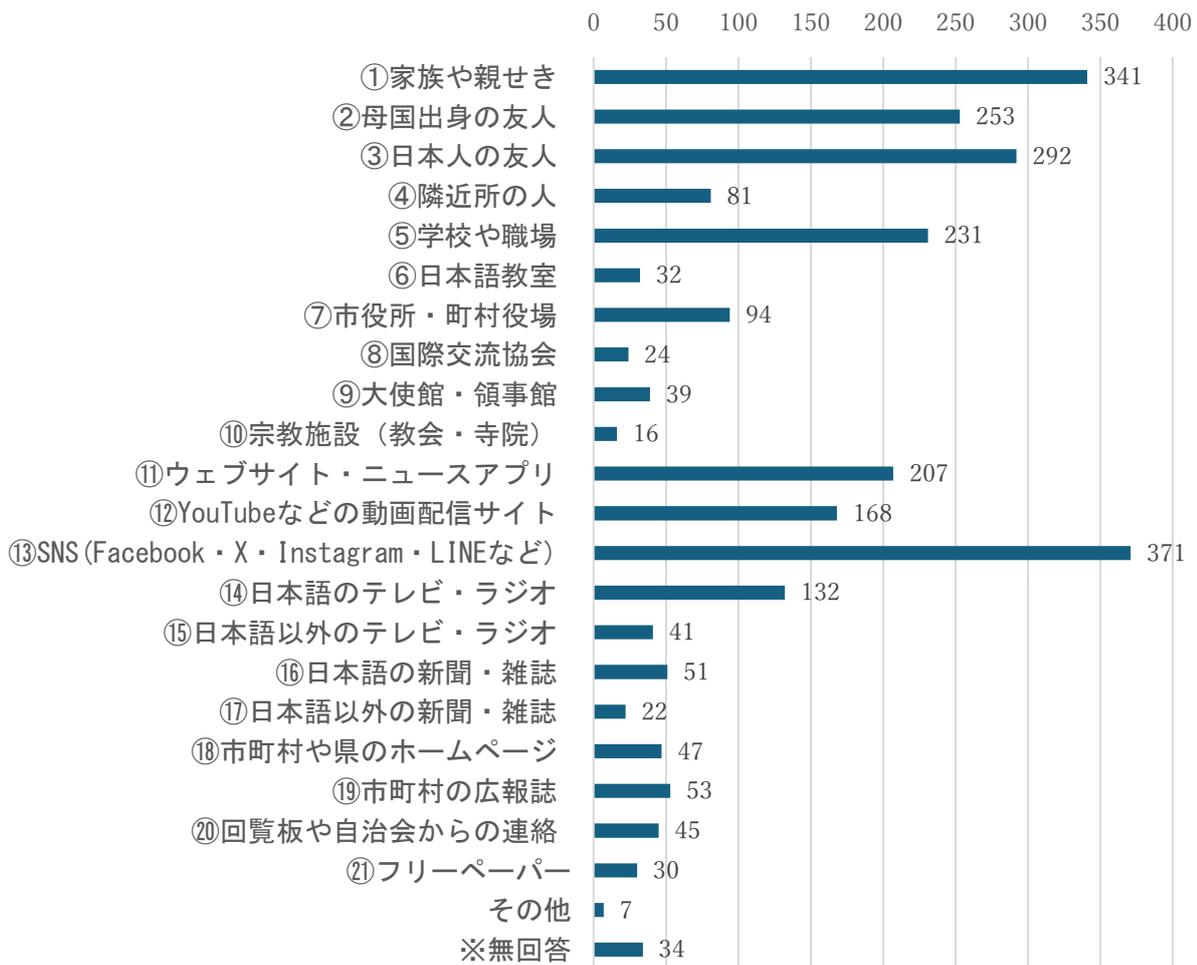
Q29 あなたは、日常生活に関する必要な情報をどこから得ていますか。（あてはまるもの全てに○）

○「SNS」が43.1%（371人）と最も多くなっている。次いで、「家族や親せき」39.7%（341人）、「日本人の友人」34.0%（292人）など、身近な人からが多くなっている。

（1）全体

n=860

日常生活に関する情報をどこから得ているか	人数（人）	割合（%）
①家族や親せき	341	39.7
②母国出身の友人	253	29.4
③日本人の友人	292	34.0
④隣近所の人	81	9.4
⑤学校や職場	231	26.9
⑥日本語教室	32	3.7
⑦市役所・町村役場	94	10.9
⑧国際交流協会	24	2.8
⑨大使館・領事館	39	4.5
⑩宗教施設（教会・寺院）	16	1.9
⑪ウェブサイト・ニュースアプリ	207	24.1
⑫YouTubeなどの動画配信サイト	168	19.5
⑬SNS（Facebook・X・Instagram・LINEなど）	371	43.1
⑭日本語のテレビ・ラジオ	132	15.3
⑮日本語以外のテレビ・ラジオ	41	4.8
⑯日本語の新聞・雑誌	51	5.9
⑰日本語以外の新聞・雑誌	22	2.6
⑱市町村や県のホームページ	47	5.5
⑲市町村の広報誌	53	6.2
⑳回覧板や自治会からの連絡	45	5.2
㉑フリーペーパー	30	3.5
その他	7	0.8
※無回答	34	4.0



(2) クロス集計

(Q29「日常生活に関する情報をどこから得ているか」×Q5「在留資格」)

○在留資格別に見ると、「永住者」、「日本人の配偶者等」では、「家族や親せき」が多くなっている。「技能実習」、「特定技能」、「留学」では、「SNS」が多くなっている。

※(Q29「日常生活に関する情報をどこから得ているか」×Q5「在留資格」) (1/2)

上段：人数 下段：%	①家族 や親せ き	②母国 出身の 友人	③日本 人の友 人	④隣近 所の人	⑤学校 や職場	⑥日本 語教室	⑦市役 所・町 村役場	⑧国際 交流協 会	⑨大使 館・領 事館	⑩宗教 施設・ 寺院
①永住者 (n = 147)	93 15.8%	31 5.3%	61 10.3%	25 4.2%	43 7.3%	0 0.0%	26 4.4%	6 1.0%	8 1.4%	3 0.5%
②日本人の配偶 者等 (n = 80)	63 23.6%	22 8.2%	25 9.4%	9 3.4%	15 5.6%	1 0.4%	10 3.7%	1 0.4%	5 1.9%	0 0.0%
③技能実習 (n = 317)	97 11.6%	117 14.0%	105 12.5%	26 3.1%	81 9.7%	9 1.1%	20 2.4%	2 0.2%	15 1.8%	4 0.5%
④技術・人文知 識・国際業務 (n = 75)	19 8.9%	15 7.0%	27 12.7%	5 2.3%	22 10.3%	1 0.5%	10 4.7%	3 1.4%	1 0.5%	1 0.5%
⑤留学 (n = 44)	9 6.3%	10 6.9%	4 2.8%	0 0.0%	25 17.4%	15 10.4%	5 3.5%	5 3.5%	1 0.7%	0 0.0%
⑥家族滞在 (n = 10)	3 11.5%	3 11.5%	3 11.5%	0 0.0%	3 11.5%	0 0.0%	3 11.5%	0 0.0%	2 7.7%	0 0.0%
⑦特定技能 (n = 135)	37 10.4%	40 11.2%	44 12.3%	9 2.5%	24 6.7%	6 1.7%	10 2.8%	4 1.1%	4 1.1%	5 1.4%
その他 (n = 44)	17 10.8%	15 9.5%	18 11.4%	5 3.2%	17 10.8%	0 0.0%	8 5.1%	3 1.9%	2 1.3%	3 1.9%
※無回答 (n = 8)	3 15.0%	0 0.0%	5 25.0%	2 10.0%	1 5.0%	0 0.0%	2 10.0%	0 0.0%	1 5.0%	0 0.0%
全体 (n = 860)	341 13.0%	253 9.7%	292 11.2%	81 3.1%	231 8.8%	32 1.2%	94 3.6%	24 0.9%	39 1.5%	16 0.6%

※（Q29「日常生活に関する情報をどこから得ているか」×Q5「在留資格」）（2/2）

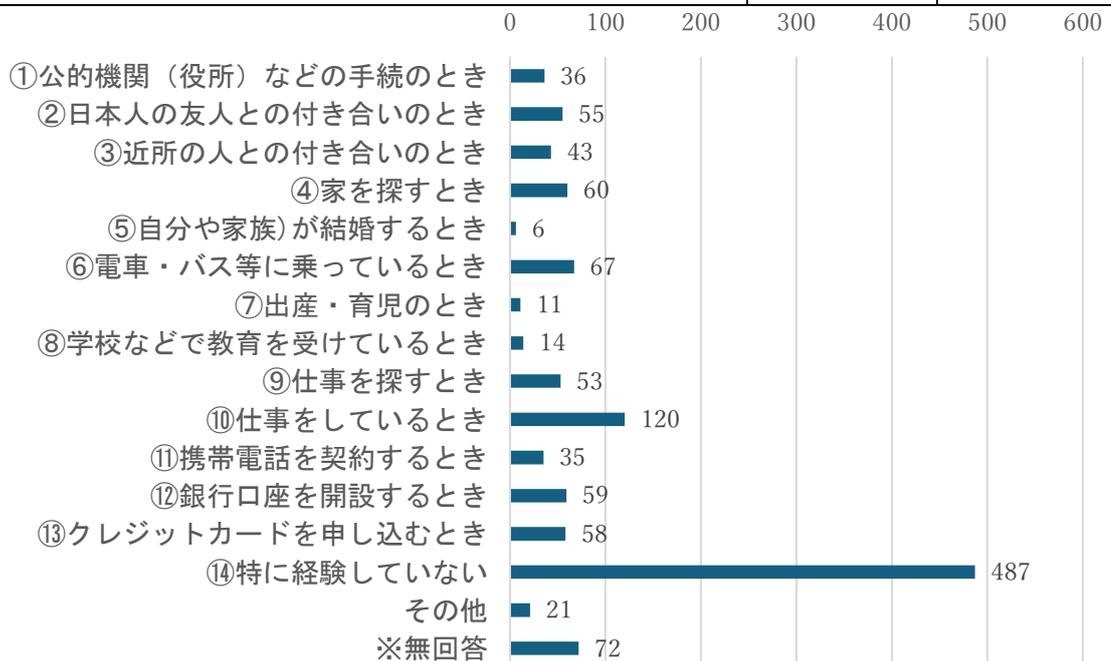
上段：人数 下段：%	⑪ウェブ サイト・ ニュー スアプ リ	⑫ YouTube などの 動画配 信サイ ト	⑬SNS	⑭日本 語のテ レビ・ ラジオ	⑮日本 語以外 のテレ ビ・ラ ジオ	⑯日本 語の新 聞・雑 誌	⑰日本 語以外 の新 聞・雑 誌	⑱市町 村や県 のホー ムペー ジ	⑲市町 村の広 報誌	⑳回覧 板や自 治会か らの連 絡	㉑フ リー ペー パー	その他	※無回 答
①永住者 (n = 147)	51 8.6%	27 4.6%	43 7.3%	61 10.3%	15 2.5%	16 2.7%	9 1.5%	16 2.7%	27 4.6%	18 3.1%	6 1.0%	1 0.2%	3 0.5%
②日本人の配偶 者等 (n = 80)	26 9.7%	15 5.6%	30 11.2%	16 6.0%	6 2.2%	7 2.6%	0 0.0%	6 2.2%	3 1.1%	5 1.9%	2 0.7%	0 0.0%	0 0.0%
③技能実習 (n = 317)	53 6.3%	58 6.9%	148 17.7%	16 1.9%	5 0.6%	15 1.8%	7 0.8%	11 1.3%	9 1.1%	12 1.4%	9 1.1%	1 0.1%	17 2.0%
④技術・人文知 識・国際業務 (n = 75)	21 9.9%	16 7.5%	32 15.0%	15 7.0%	4 1.9%	3 1.4%	3 1.4%	4 1.9%	3 1.4%	1 0.5%	3 1.4%	1 0.5%	3 1.4%
⑤留学 (n = 44)	14 9.7%	12 8.3%	27 18.8%	4 2.8%	2 1.4%	2 1.4%	0 0.0%	2 1.4%	2 1.4%	0 0.0%	2 1.4%	1 0.7%	2 1.4%
⑥家族滞在 (n = 10)	1 3.8%	1 3.8%	2 7.7%	1 3.8%	1 3.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.8%	1 3.8%	1 3.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑦特定技能 (n = 135)	23 6.4%	29 8.1%	72 20.2%	16 4.5%	4 1.1%	6 1.7%	2 0.6%	4 1.1%	4 1.1%	2 0.6%	6 1.7%	2 0.6%	4 1.1%
その他 (n = 44)	18 11.4%	10 6.3%	16 10.1%	2 1.3%	3 1.9%	2 1.3%	1 0.6%	3 1.9%	4 2.5%	6 3.8%	2 1.3%	1 0.6%	2 1.3%
※無回答 (n = 8)	0 0.0%	0 0.0%	1 5.0%	1 5.0%	1 5.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 15.0%
全体 (n = 860)	207 7.9%	168 6.4%	371 14.2%	132 5.0%	41 1.6%	51 2.0%	22 0.8%	47 1.8%	53 2.0%	45 1.7%	30 1.1%	7 0.3%	34 1.3%

Q30 あなたは次のような生活の場面で差別的な扱いを受けた経験がありますか。（あてはまるもの全てに○）

○「特に経験をしていない」が56.6%（487人）と最も多くなっている。一方で、具体的な場面では「仕事をしているとき」14.0%（120人）、「仕事を探すとき」6.2%（53人）など就労に関する場面や、「家を探すとき」7.0%（60人）、「電車・バス等に乗っているとき」7.8%（67人）など、日常生活や各種手続の場面などとなっている。

n=860

差別を受けたことがあるか	人数（人）	割合（%）
①公的機関（市区町村・都道府県・国）などの手続のとき	36	4.2
②日本人の友人との付き合いのとき	55	6.4
③近所の人との付き合いのとき	43	5.0
④家を探すとき	60	7.0
⑤自分や家族が結婚するとき	6	0.7
⑥電車・バス等に乗っているとき	67	7.8
⑦出産・育児のとき	11	1.3
⑧学校などで教育を受けているとき	14	1.6
⑨仕事を探すとき	53	6.2
⑩仕事をしているとき	120	14.0
⑪携帯電話を契約するとき	35	4.1
⑫銀行口座を開設するとき	59	6.9
⑬クレジットカードを申し込むとき	58	6.7
⑭特に経験していない	487	56.6
その他	21	2.4
※無回答	72	8.4

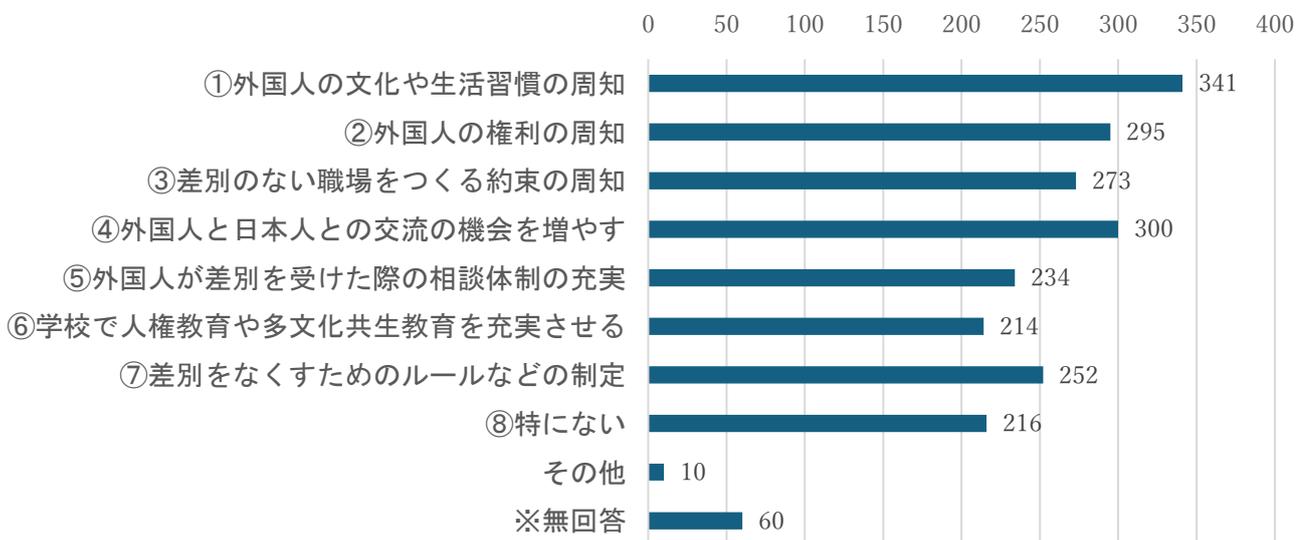


Q31 あなたは差別をなくし、人権を守るためにどのような取組や活動があるとよいと思いますか。（あてはまるもの全てに○）

○「外国人の文化や生活習慣の周知」が 39.7%（341 人）と最も多くなっている。次いで、「外国人と日本人との交流の機会を増やす」34.9%（300 人）、「外国人の権利の周知」34.3%（295 人）なども多くなっている。

n=860

人権を守るための取組や活動	人数（人）	割合（%）
①外国人の文化や生活習慣の周知	341	39.7
②外国人の権利の周知	295	34.3
③差別のない職場をつくるための約束の周知	273	31.7
④外国人と日本人との交流の機会を増やす	300	34.9
⑤外国人が差別を受けた際の相談体制を充実させる	234	27.2
⑥学校で人権教育や多文化共生教育を充実させる	214	24.9
⑦差別をなくすためのルールなどの制定	252	29.3
⑧特にない	216	25.1
その他	10	1.2
※無回答	60	7.0



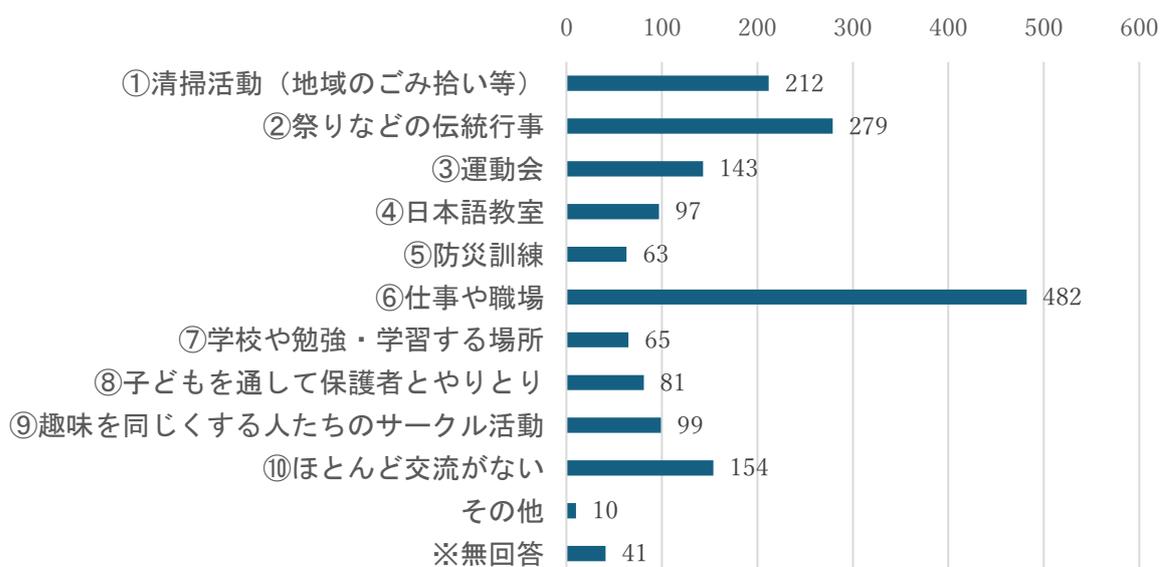
VI その他

Q32 あなたは地域で日本人とどのような交流があります（ありました）か。
（あてはまるもの全てに○）

○最も多かった交流の場面は「仕事や職場」のが56.0%（482人）と最も多くなっている。次いで、「祭りなどの伝統行事」が32.4%（279人）、「清掃活動」24.7%（212人）となっている。

n=860

地域の日本人との交流	人数（人）	割合（%）
①清掃活動（地域のごみ拾いや環境美化など）	212	24.7
②祭りなどの伝統行事（夏祭り、七夕、お正月など）	279	32.4
③運動会（地域や学校のスポーツイベントなど）	143	16.6
④日本語教室	97	11.3
⑤防災訓練	63	7.3
⑥仕事や職場	482	56.0
⑦学校や勉強・学習する場所	65	7.6
⑧子どもを通して保護者とやりとり	81	9.4
⑨趣味を同じくする人たちのサークル活動	99	11.5
⑩ほとんど交流がない	154	17.9
その他	10	1.2
※無回答	41	4.8



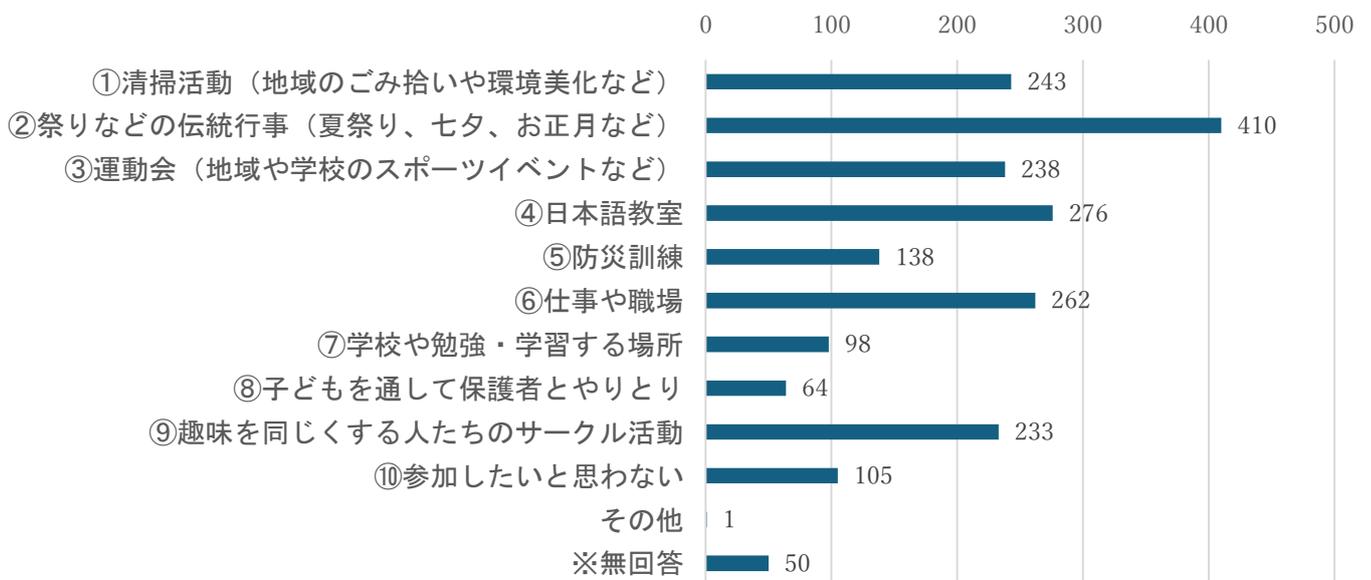
Q33 どういった交流があれば参加したいですか。（あてはまるもの全てに○）

○「祭りなどの伝統行事」が47.7%（410人）と最も多くなっている。次いで、「日本語教室」32.1%（276人）、「仕事や職場」30.5%（262人）、「清掃活動」28.3%（243人）、「運動会」27.7%（238人）となっている。

（1）全体

n=860

どういった交流に参加したいか	人数（人）	割合（%）
①清掃活動（地域のごみ拾いや環境美化など）	243	28.3
②祭りなどの伝統行事（夏祭り、七夕、お正月など）	410	47.7
③運動会（地域や学校のスポーツイベントなど）	238	27.7
④日本語教室	276	32.1
⑤防災訓練	138	16.0
⑥仕事や職場	262	30.5
⑦学校や勉強・学習する場所	98	11.4
⑧子どもを通して保護者とやりとり	64	7.4
⑨趣味を同じくする人たちのサークル活動	233	27.1
⑩参加したいと思わない	104	12.1
その他	1	0.1
※無回答	50	5.8



(2) クロス集計

① (Q33「どういった交流があれば参加したいですか」×Q3「年代」)

○年代別に見ると、20代から50代では「祭りなどの伝統行事」への参加希望が最も多く、若い世代ほどその傾向が見られた。一方、50代から70代以上では、「趣味」を通じた交流を希望する回答が比較的多くなっている。

上段：人数 下段：%	①清掃活動	②祭りなどの伝統行事	③運動会	④日本語教室	⑤防災訓練	⑥仕事や職場	⑦学校や勉強・学習の場	⑧子どもを通して保護者とやりとり	⑨趣味	⑩参加したいと思わない	その他	※無回答
①20代 (n=370)	93 10.0%	200 21.4%	120 12.8%	130 13.9%	56 6.0%	112 12.0%	46 4.9%	17 1.8%	97 10.4%	45 4.8%	0.0%	18 1.9%
②30代 (n=265)	82 12.1%	126 18.6%	73 10.8%	88 13.0%	49 7.2%	86 12.7%	23 3.4%	29 4.3%	70 10.3%	36 5.3%	0.0%	17 2.5%
③40代 (n=112)	32 11.9%	46 17.0%	27 10.0%	31 11.5%	17 6.3%	35 13.0%	18 6.7%	14 5.2%	29 10.7%	14 5.2%	0.0%	7 2.6%
④50代 (n=76)	24 15.7%	27 17.6%	14 9.2%	16 10.5%	8 5.2%	21 13.7%	6 3.9%	3 2.0%	24 15.7%	5 3.3%	1 0.7%	4 2.6%
⑤60代 (n=22)	8 14.3%	8 14.3%	3 5.4%	8 14.3%	4 7.1%	6 10.7%	4 7.1%	1 1.8%	11 19.6%	3 5.4%	0.0%	0.0%
⑥70代～ (n=11)	2 12.5%	1 6.3%	1 6.3%	1 6.3%	2 12.5%	1 6.3%	1 6.3%	1 0.0%	2 12.5%	2 12.5%	0.0%	3 18.8%
※無回答 (n=4)	2 20.0%	2 20.0%	0.0%	2 20.0%	2 20.0%	1 10.0%	1 0.0%	1 0.0%	1 0.0%	1 0.0%	0.0%	1 10.0%
全体 (n=860)	243 11.5%	410 19.4%	238 11.2%	276 13.0%	138 6.5%	262 12.4%	98 4.6%	64 3.0%	233 11.0%	105 5.0%	1 0.0%	50 2.4%

② (Q33「どういった交流があれば参加したいですか」×Q5「在留資格」)

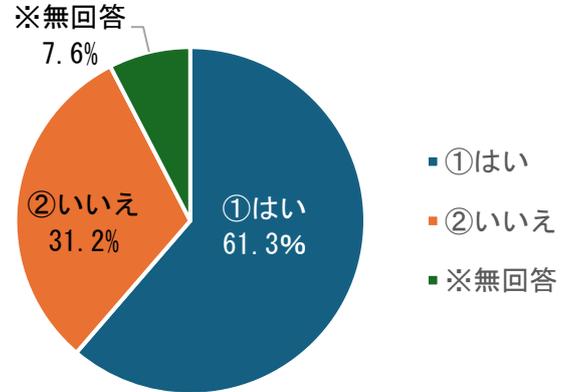
○在留資格別に見ると、いずれの在留資格においても「祭りなどの伝統行事」を通じた交流を希望する回答が多くなっている。また、「日本語教室」での交流を希望する回答は、「技能実習」及び「留学」の在留資格で比較的多くなっている。

上段：人数 下段：%	①清掃活動	②祭りなどの伝統行事	③運動会	④日本語教室	⑤防災訓練	⑥仕事や職場	⑦学校や勉強・学習の場	⑧子どもを通して保護者とやりとり	⑨趣味	⑩参加したいと思わない	その他	※無回答
①永住者 (n=147)	45 12.7%	61 17.3%	32 9.1%	31 8.8%	18 5.1%	49 13.9%	19 5.4%	19 5.4%	52 14.7%	17 4.8%	0.0%	10 2.8%
②日本人の配偶者等 (n=80)	23 12.2%	40 21.3%	21 11.2%	21 11.2%	10 5.3%	14 7.4%	8 4.3%	14 7.4%	23 12.2%	11 5.9%	1 0.5%	2 1.1%
③技能実習 (n=317)	74 10.4%	150 21.2%	88 12.4%	103 14.5%	43 6.1%	96 13.5%	20 2.8%	10 1.4%	60 8.5%	41 5.8%	0.0%	24 3.4%
④技術・人文・国際 (n=75)	27 12.1%	43 19.3%	23 10.3%	28 12.6%	15 6.7%	20 9.0%	16 7.2%	9 4.0%	31 13.9%	8 3.6%	0.0%	3 1.3%
⑤留学 (n=44)	15 10.6%	26 18.4%	15 10.6%	21 14.9%	8 5.7%	14 9.9%	17 12.1%	2 1.4%	19 13.5%	0.0%	0.0%	4 2.8%
⑥家族滞在 (n=10)	3 9.7%	6 19.4%	5 16.1%	3 9.7%	3 9.7%	3 9.7%	2 6.5%	3 9.7%	3 9.7%	0.0%	0.0%	0.0%
⑦特定技能 (n=135)	43 12.9%	60 18.0%	41 12.3%	46 13.8%	30 9.0%	49 14.7%	12 3.6%	3 0.9%	26 7.8%	22 6.6%	0.0%	2 0.6%
その他 (n=44)	10 8.2%	22 18.0%	12 9.8%	20 16.4%	9 7.4%	16 13.1%	4 3.3%	4 3.3%	18 14.8%	5 4.1%	0.0%	2 1.6%
※無回答 (n=8)	3 17.6%	2 11.8%	1 5.9%	3 17.6%	2 11.8%	1 5.9%	1 0.0%	1 0.0%	1 5.9%	1 5.9%	0.0%	3 17.6%
全体 (n=860)	243 11.5%	410 19.4%	238 11.2%	276 13.0%	138 6.5%	262 12.4%	98 4.6%	64 3.0%	233 11.0%	105 5.0%	1 0.0%	50 2.4%

Q34 あなたは地域のために活動したいと思いますか。

○「活動したい」が61.3%（527人）となっており、地域のために何らかの形で活動したいと考えている回答者が多くなっている。

地域のために活動したいか	人数 (人)	割合 (%)
①はい	527	61.3
②いいえ	268	31.2
※無回答	65	7.6

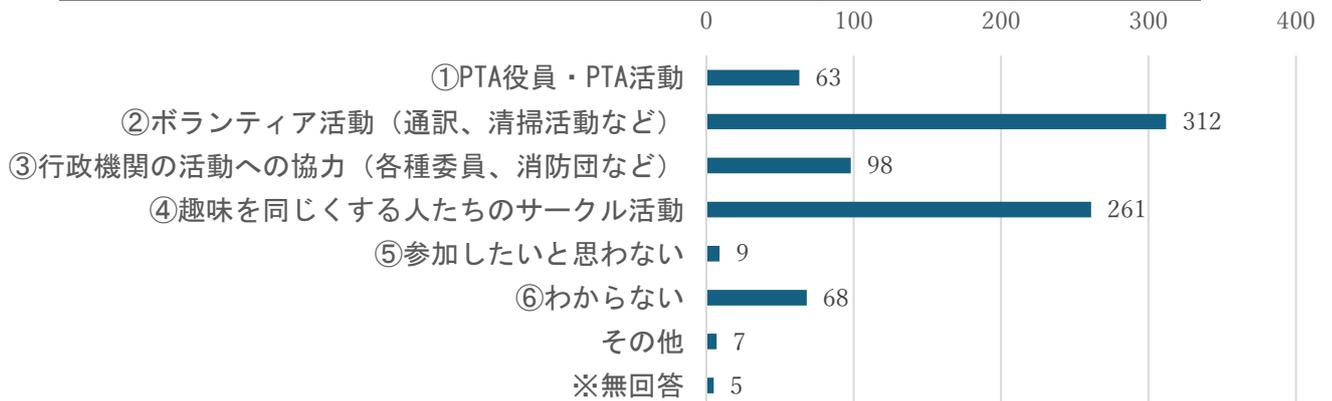


Q35 どんな活動をやってみたいと思いますか。（あてはまるもの全てに○）
【Q34で①を選択された方】

○「ボランティア活動」が59.2%（312人）と最も多くなっている。次いで、「趣味を同じくする人たちのサークル活動」49.5%（261人）となっている。

(1) 全体

どんな活動をやってみたいか	人数 (人)	割合 (%)
① PTA 役員・PTA 活動 ※「PTA」とは、おやとせんせいがいっしょに学校のことを考える会のことです。	63	12.0
② ボランティア活動（通訳、清掃活動など）	312	59.2
③ 行政機関の活動への協力（各種委員、消防団など）	98	18.6
④ 趣味を同じくする人たちのサークル活動	261	49.5
⑤ 参加したいと思わない	9	1.7
⑥ わからない	68	12.9
その他	7	1.3
※無回答	5	0.9

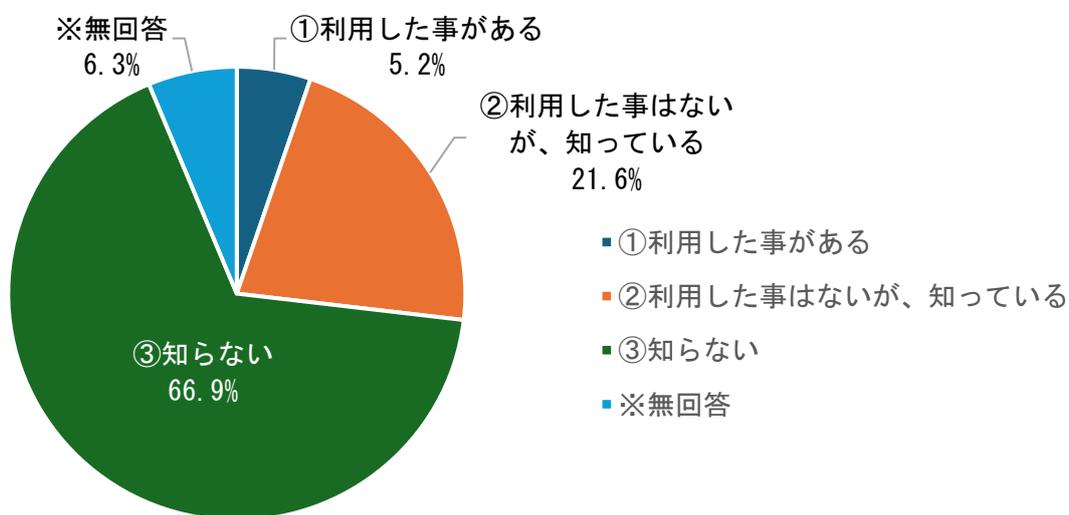


Q36 あなたは、福島県国際交流協会の「外国人のための相談窓口」を利用した事がありますか。

○「知らない」が66.9%（575人）となっている。

n=860

相談窓口を利用したことがあるか	人数（人）	割合（%）
①利用した事がある	45	5.2
②利用した事はないが、知っている	186	21.6
③知らない	575	66.9
※無回答	54	6.3



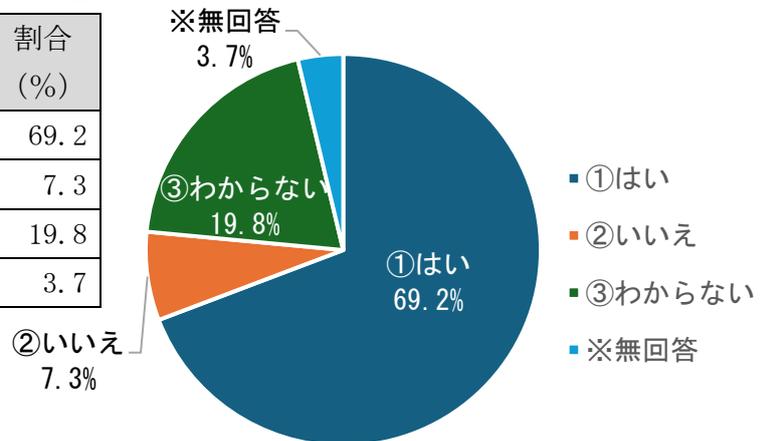
Q37 福島県は外国人にとって暮らしやすいと感じますか。（あてはまるもの全てに○）

○「暮らしやすい」が69.2%（595人）となっている。

（1）全体

n=860

外国人にとって暮らしやすいか	人数 (人)	割合 (%)
①はい	595	69.2
②いいえ	63	7.3
③わからない	170	19.8
※無回答	32	3.7



（2）クロス集計

①（Q37「福島県は外国人にとって暮らしやすいか」×Q1「地域」）

○どの地域でも「暮らしやすい」が最も多くなっている。県南は78.4%と最も高く、次いで南会津76.9%、県中74.3%となっている。

上段：人数 下段：%	①はい	②いいえ	③わからない	※無回答
県北 (n=265)	173 65.3%	20 7.5%	60 22.6%	12 4.5%
県中 (n=206)	153 74.3%	14 6.8%	34 16.5%	5 2.4%
県南 (n=88)	69 78.4%	4 4.5%	14 15.9%	1 1.1%
会津 (n=84)	58 69.0%	9 10.7%	16 19.0%	1 1.2%
南会津 (n=13)	10 76.9%	2 15.4%	0.0%	1 7.7%
相双 (n=53)	29 54.7%	7 13.2%	15 28.3%	2 3.8%
いわき (n=143)	99 69.2%	7 4.9%	28 19.6%	9 6.3%
※無回答 (n=8)	4 50.0%	0.0%	3 37.5%	1 12.5%
全体 (n=860)	595 69.2%	63 7.3%	170 19.8%	32 3.7%

② (Q37「福島県は外国人にとって暮らしやすいと感じますか」×Q3「年代」)

上段：人数 下段：%	①はい	②いいえ	③わからない	※無回答
①20代 (n=370)	258 69.7%	28 7.6%	67 18.1%	17 4.6%
②30代 (n=265)	188 70.9%	19 7.2%	52 19.6%	6 2.3%
③40代 (n=112)	70 62.5%	9 8.0%	29 25.9%	4 3.6%
④50代 (n=76)	57 75.0%	4 5.3%	13 17.1%	2 2.6%
⑤60代 (n=22)	13 59.1%	1 4.5%	8 36.4%	0.0%
⑥70代 (n=11)	7 63.6%	2 18.2%	1 9.1%	1 9.1%
※無回答 (n=4)	2 50.0%	0.0%	0.0%	2 50.0%
全体 (n=860)	595 69.2%	63 7.3%	170 19.8%	32 3.7%

○どの年代も半数以上が、暮らしやすいと感じている。

③ (Q37「福島県は外国人にとって暮らしやすいと感じますか」×Q5「在留資格」)

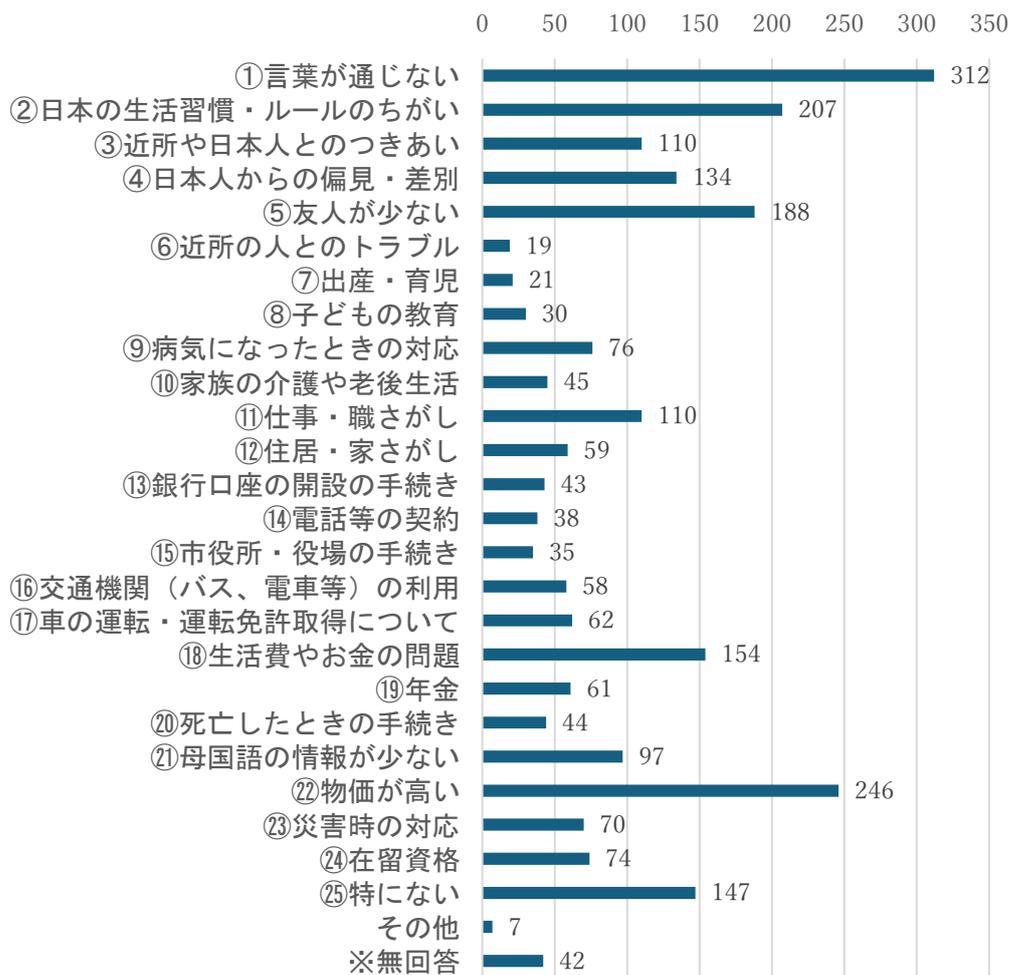
○どの在留資格も半数以上が、暮らしやすいと感じている。

上段：人数 下段：%	①はい	②いいえ	③わからない	※無回答
①永住者 (n=147)	99 67.3%	12 8.2%	33 22.4%	3 2.0%
②日本人の配偶者等 (n=80)	58 72.5%	8 10.0%	14 17.5%	0.0%
③技能実習 (n=317)	223 70.3%	20 6.3%	56 17.7%	18 5.7%
④技術・人文知識・国際業務 (n=75)	43 57.3%	9 12.0%	19 25.3%	4 5.3%
⑤留学 (n=44)	33 75.0%	1 2.3%	8 18.2%	2 4.5%
⑥家族滞在 (n=10)	9 90.0%	1 10.0%	0.0%	0.0%
⑦特定技能 (n=135)	94 69.6%	11 8.1%	29 21.5%	1 0.7%
その他 (n=44)	31 70.5%	1 2.3%	10 22.7%	2 4.5%
※無回答 (n=8)	5 62.5%	0.0%	1 12.5%	2 25.0%
全体 (n=860)	595 69.2%	63 7.3%	170 19.8%	32 3.7%

Q38 あなたが日常生活で困っていることや不安な事は何ですか。（あてはまるもの全てに○）

○「言葉が通じない」が 36.3%（312 人）で最も多くなっている。次いで、「物価が高い」28.6%（246 人）、「日本の生活習慣・ルールの違い」24.1%（207 人）、「友人が少ない」21.9%（188 人）、「生活費やお金の問題」17.9%（154 人）となっている。 n=860

日常困っていることや不安なこと	人数（人）	割合（％）
①言葉が通じない	312	36.3
②日本の生活習慣・ルールのちがい	207	24.1
③近所や日本人とのつきあい	110	12.8
④日本人からの偏見・差別	134	15.6
⑤友人が少ない	188	21.9
⑥近所の人とのトラブル	19	2.2
⑦出産・育児	21	2.4
⑧子どもの教育	30	3.5
⑨病気になったときの対応	76	8.8
⑩家族の介護や自分が年を取った時の生活	45	5.2
⑪仕事・職さがし	110	12.8
⑫住居・家さがし	59	6.9
⑬銀行口座の開設の手続き	43	5.0
⑭電話等の契約	38	4.4
⑮市役所・役場の手続き	35	4.1
⑯交通機関（バス、電車、タクシー）の利用	58	6.7
⑰車の運転・運転免許をとる時	62	7.2
⑱生活費やお金の問題	154	17.9
⑲年金	61	7.1
⑳死亡したときの手続き	44	5.1
㉑母国語の情報が少ない	97	11.3
㉒物価が高い	246	28.6
㉓災害（地震、台風に対する備え・災害時の対応	70	8.1
㉔在留資格	74	8.6
㉕特にない	147	17.1
その他	7	0.8
※無回答	42	4.9

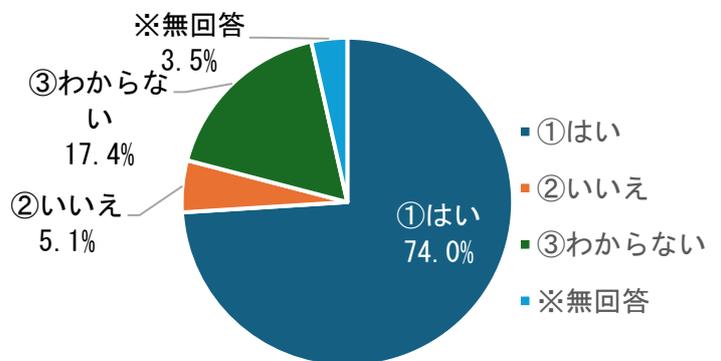


Q39 今後も福島に住み続けたいと思いますか。

○「住み続けたい」が74.0%（636人）となっている。

n=860

福島に住み続けたいか	人数 (人)	割合 (%)
①はい	636	74.0
②いいえ	44	5.1
③わからない	150	17.4
※無回答	30	3.5



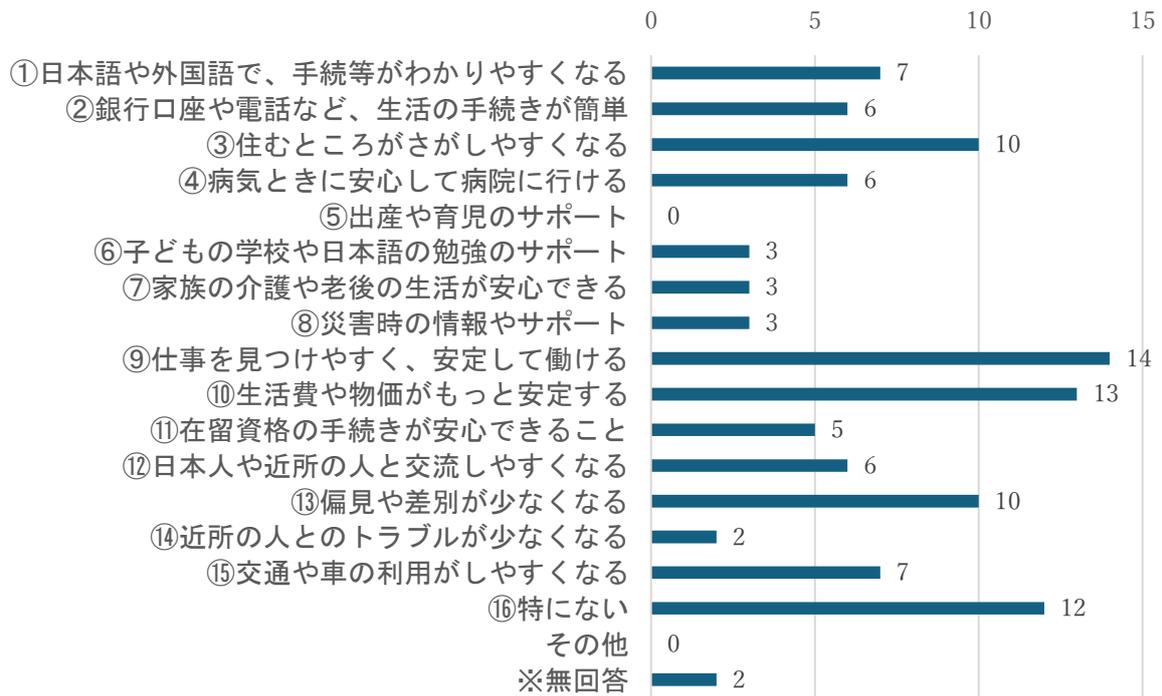
Q40 どう変われば福島に住み続けたいと思いますか。（あてはまるもの全てに○）

【39で②と選択された方のみ】

○「仕事を見つけやすく、安定して働けること」が31.8%（14人）と最も多くなっている。次いで、「生活費や物価がもっと安定すること」29.5%（13人）、「住むところが探しやすくなること」22.7%（10人）となっている。

n=44

どう変われば福島に住み続けたいか	人数 (人)	割合 (%)
①日本語や外国語で、生活や手続きの情報がわかりやすくなること	7	15.9
②銀行口座や電話など、生活の手続きが簡単になること	6	13.6
③住むところ(アパートや家)がさがしやすくなること	10	22.7
④病気ときに安心して病院に行けること	6	13.6
⑤出産や育児のサポートがあること	0	0.0
⑥子どもの学校や日本語の勉強のサポートがあること	3	6.8
⑦家族の介護や自分が年をとった時の生活が安心できること	3	6.8
⑧災害(地震・台風・大雪など)のときに、わかりやすい情報やサポートがあること	3	6.8
⑨仕事を見つけやすく、安定して働けること	14	31.8
⑩生活費や物価がもっと安定すること	13	29.5
⑪在留資格の手続きが安心できること	5	11.4
⑫日本人や近所の人と交流しやすくなること	6	13.6
⑬偏見や差別が少なくなること	10	22.7
⑭近所の人とのトラブルが少なくなること	2	4.5
⑮交通や車の利用がしやすくなること	7	15.9
⑯特にない	12	27.3
その他	0	0.0
※無回答	2	4.5

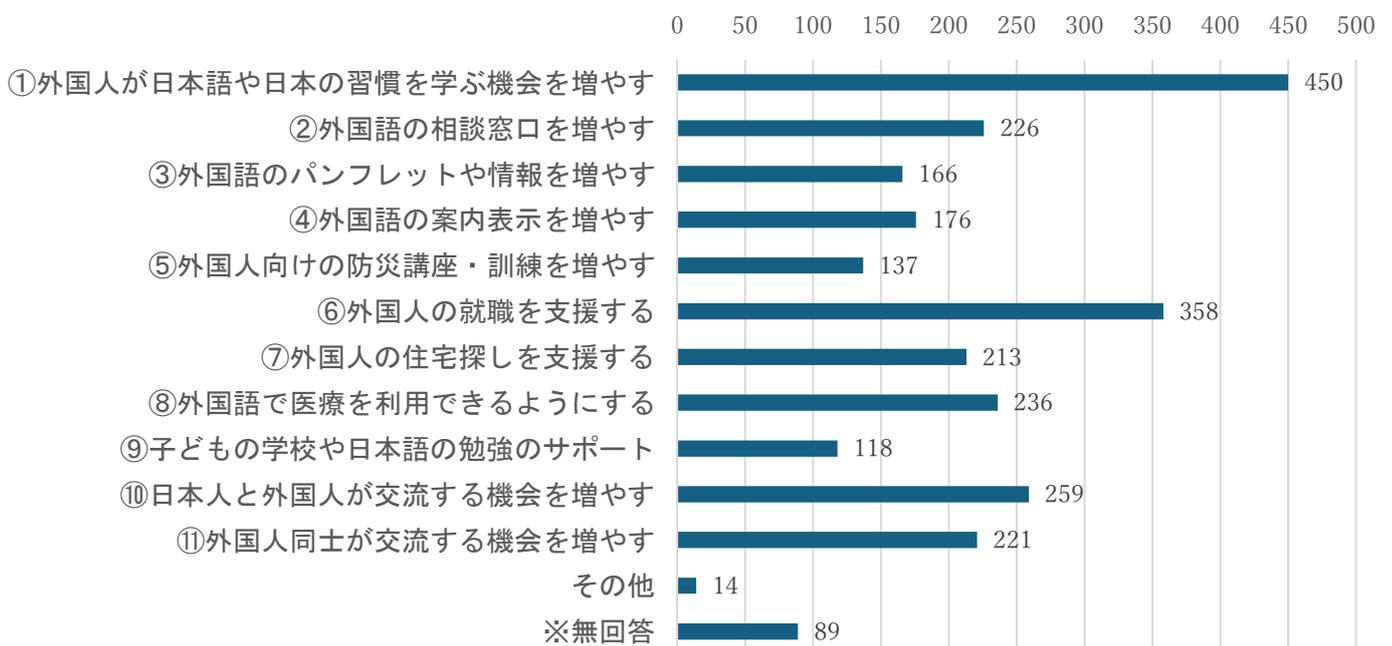


Q41 県や市町村にしてほしいことは何ですか。(あてはまもの全てに○)

○「外国人が日本語や日本の習慣を学ぶ機会を増やす」が52.3%（450人）と最も多くなっており、日本語学習や生活習慣への支援が多く求められている。次いで、「外国人の就職を支援する」41.6%（358人）、「日本人と外国人が交流する機会を増やす」30.1%（259人）、「外国語で医療を利用できるようにする」27.4%（236人）、「外国語の相談窓口を増やす」26.3%（226人）となっており、就労、交流、医療といった生活基盤分野への支援が求められている。

n=860

県や市町村へ要望	人数（人）	割合（%）
①外国人が日本語や日本の習慣を学ぶ機会を増やす	450	52.3
②外国語の相談窓口を増やす	226	26.3
③外国語のパンフレットや情報を増やす	166	19.3
④外国語の案内表示を増やす	176	20.5
⑤外国人向けの防災講座・訓練を増やす	137	15.9
⑥外国人の就職を支援する	358	41.6
⑦外国人の住宅探しを支援する	213	24.8
⑧外国語で医療（病院・薬局）を利用できるようにする	236	27.4
⑨子どもの学校や日本語の勉強のサポートがあること	118	13.7
⑩日本人と外国人が交流する機会を増やす(外国人の地域活動参加)	259	30.1
⑪外国人同士が交流する機会を増やす	221	25.7
その他	14	1.6
※無回答	81	9.4



Q42 最後にあなたが福島県に住んでみて感じることや、ご意見があれば書いてください。

<主な回答>

○感想全般

- ・福島は有数の住みやすい場所だ。静かで自然が豊か。四季もはっきりしている。
- ・福島は住むのに最高の場所だが、最近物価が高い。
- ・生活費は大都市ほど高くない。
- ・日本語が上手くなくても、職員の方は親切で感動した。
- ・自然の美しさで訪れる人を惹きつける魅力がある。ただ、冬の生活は大変で、特に吹雪の時は注意が必要。

○日本語・日本文化に関すること

- ・南会津方面にも日本語クラスがあるとよい。
- ・市町村役場に、土日に日本語が学べる教室があるとよい。日本語研修施設があるとよい。
- ・日本語教室を受講したいが、費用が高すぎて手が届かない。無料の日本語教室があるとよい。
- ・日本の生活、文化、マナーをもっとわかるようにしてもらいたい。
- ・日本語学習と並行して、日本文化の座禅・弓道など学びたい。
- ・日本に勉強しに来たにも関わらず、日本の文化を知らない留学生がいるので、県内の大学で、留学生に向けてイベントや行事を発信して欲しい。

○交流に関すること

- ・日本人が外国人を支援・サポートするための適切な地域社会の構築。
- ・英語でのサポートや地元住民との交流の機会が増えるとさらに生活しやすくなると思う。

○生活に関すること、その他

(多言語対応・相互理解)

- ・地方自治体や県の行政には、多言語対応や多文化支援の体制が十分ではなく、新しく来た人が疎外感や歓迎されていないと感ずることがある。
- ・健康診断の案内を受け取ったが英語で書かれており、医療サービスを見つけるのが難しい。
- ・イスラム教徒のムスリムへの理解が足りない。

(交通面)

- ・福島県は山間部が多いため、公共交通機関のアクセスが不足している。県に対して、自転車で移動が困難な地域への公共交通機関の強化を求める。
- ・会津地方北部、浜通りの交通の便を良くして欲しい。
- ・夜間の交通サービスを増やして欲しい。
- ・外国人に対する自動車運転免許の取得要件緩和もお願いしたい。
- ・職場で、車を購入して、免許を取って欲しいと言われても支援がないので、車を買う余裕がない。もし車を所有しても、駐車場代、メンテナンス料など維持費がかかるので、現実問題持てない。
- ・夜勤で暗い時間帯に出勤しているので、道路に街灯を増やして欲しい。

(医療面)

- ・幸い深刻な病気になったことはないが、救急車を呼ぶのも日本語があまりできないと非常に困難。
- ・医療機関に受診を断られたら別の医療機関に電話をして、外国人受け入れ可能な医療機関が見つかるまで繰り返す必要があり、ストレスです。
- ・外国人向けのメンタルヘルスやコミュニティ支援のサービスも必要である。
- ・英語等に対応可能な精神医療施設を見つけるのは難しい。
- ・医療サービスを低価格で提供し、経済的な支援もお願いしたい。

(仕事面)

- ・日本人と同じ仕事をしているのに、賃金が安い。同一労働、同一賃金にして欲しい。
- ・求職中の外国人への支援強化。